YAMAHA

メトロノーム
METRONOME
MÉTRONOME
METRONOM
METRÓNOMO
METRONOMO
METRONOOM

取扱説明書

Owner's Manual

Mode d'emploi

Bedienungsanleitung

Manual del usuario

Manuale di Istruzioni

Handleiding

CLICKSTATION

安全へのこころがけ

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには　～以下の指示を必ず守ってください～

絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。
絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。

注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。	
禁止の行為を告げるものです。	例：→ 分解禁止
行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	例：→電源プラグをコンセントから抜く

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。

- この機器を使用する前に以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。
- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
  火災、感電の原因となります。
- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。
- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
  火災、感電の原因となります。
  - ● 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - ● 温度が極端に低い場所
  - ● 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - ● ホコリの多い場所
  - ● 振動の多い場所
  - ※ 特に自動車内は直射日光などにより非常に高温となります。
    この機器を車内に放置しないでください。
- 本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かないでください。
  火災、感電、故障などの原因となります。
- 電源アダプターは、必ず指定のものをお使いください。異なった電源アダプターの使用は、故障、発火などの原因になります。
- 電源アダプターは、必ずAC100Vの電源コンセントに接続して使用してください。エアコンの電源などAC200Vのものがあります。誤って接続すると火災、感電、故障などの原因となります。
- 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、重いものを乗せたり、傷つけたりしないでください。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。感電や火災の原因になります。
- 次のような場合は、直ちに電源スイッチを切り電源アダプタープラグをコンセントから抜いて、サービスセンターに修理を依頼してください。
  - ● 電源アダプターのコードやプラグが破損した場合
  - ● 使用中に音が出なくなったり異常なにおいや煙が出た場合
  - ● 異物が内部に入ったり、液体がこぼれた場合
  - ● 機器が（雨などで）濡れた場合
  - ● 機器に異常や故障が生じた場合
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、過度に積み重ねての使用はしないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- 長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源アダプタープラグを抜いておいてください。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。

- 電源アダプタープラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。
- タコ足配線はしないでください。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。
- 本機の電源を入れる際は、必ずVOLUMEコントロールを0にした状態で行なってください。感電または機器の損傷のおそれがあります。
- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは別のコンセントをお使いください。
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合、ハムやうなりが生じることがあります。その場合は、本機との向きや距離を変えてみてください。また、雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。
- 本体のお手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かないでください。本体の変色や変質の原因になります。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱いや、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えたりしないでください。製品に悪い影響を与え、性能を劣化させます。また、思わぬけがの原因となります。
- 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なってください。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
- 手入れをするときは、必ず電源アダプタープラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で電源アダプタープラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源アダプタープラグにホコリが付着している場合は、ホコリをきれいに拭き取ってください。そのままの使用は火災、感電、故障などの原因となります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証は致しかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

このたびはヤマハクリックステーションをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。クリックステーションの機能を充分活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

仕様

メトロノーム

テンポ：35〜300回/分

ビート：BEAT 1：0〜9
BEAT 2(複合ビート)：ー〜9

テンポ精度：0.16%

バイブレーション：テンポに応じてバイブレーションユニットが振動

テンポLED：テンポ/ビートに応じて点灯

基準音

発音範囲：C2〜B6

基準ピッチ：438〜446Hz

発音精度：±1Cent

メモリー

メモリー数：86ソング

チェインプログラム：10

ステップ数：20ソング(1プログラムにつき)

入出力

TRIGGER IN：標準モノラルフォンジャック

MIDI IN：DIN規格5ピン

AUX IN：標準ステレオジャック

DC IN：+–⊙–– 9V

PHONE：標準ステレオフォンジャック/ミニステレオフォンジャック

スピーカー

57mm x1

電源

電源アダプター(PA-3C)または6LR61乾電池 x1

寸法/重量

170 x 122 x 37 mm / 395 g(乾電池含む)

付属品

チルトアングル、蝶ネジ、6LR61乾電池、
取扱説明書(本書)

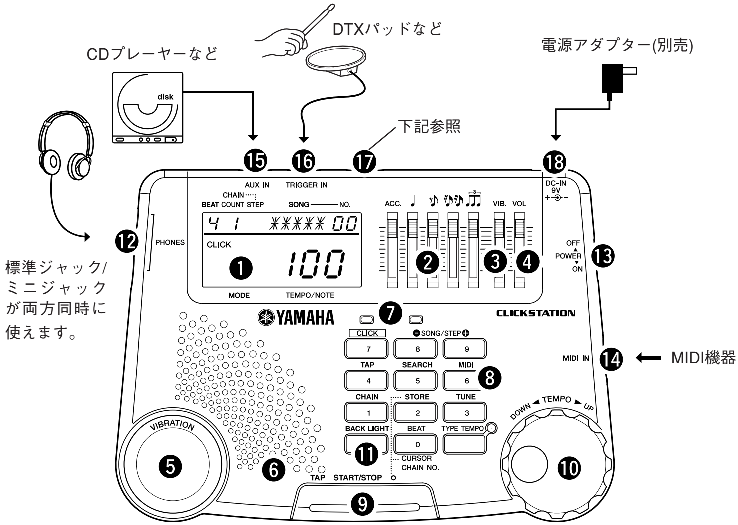
* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

各部の名称

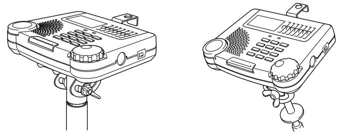


❑ **アタッチメント取付方法**

付属のチルトアングルを取り付けると、机の上などに置きながら使用することができます。



また、別売のマウントアダプターやマイクスタンドアダプターを組み合わせることにより、クリックステーションをマイクスタンド、シンバルスタンド、カウベルホルダーなどに取り付けることができます。



■ フロントパネル

❶ ディスプレイ
❷ ビートスライダー
❸ バイブレーションスライダー(VIB.)
❹ ボリュームスライダー(VOL)
❺ バイブレーター(VIBRATION)
❻ スピーカー
❼ ビートインジケーター
❽ コントロールボタン
❾ スタート/ストップボタン(タップボタン兼用)(TAP START/STOP)
❿ テンポダイアル(TEMPO)
⓫ バックライトボタン(自動消灯/連続点灯選択可能、9ページ参照)

■ サイドパネル

⓬ ヘッドフォン端子(PHONES)
⓭ 電源スイッチ(POWER ON/OFF)
⓮ ミディイン端子(MIDI IN)

■ リアパネル

⓯ 外部入力端子(AUX IN)
⓰ トリガーイン端子(TRIGGER IN)
⓱ アタッチメント取り付けホルダー
⓲ 電源アダプター接続端子(DC IN 9V)

電源の準備

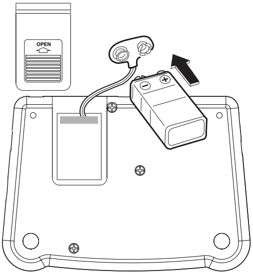
■ 乾電池を使用する場合

1. 市販のアルカリ乾電池(6LR61：9V，S-006P)を1個用意します。

   * マンガン乾電池をご使用になると、乾電池によっては極端に電池寿命が短くなることがあります。

2. 本機の電源スイッチが**OFF**になっていることを確認し、リアパネルの電池カバーを外します。

3. 用意した乾電池を、向きと極性(+/-)を確認してバッテリースナップに取り付け、電池カバーを閉めます。

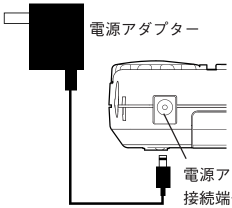


* 乾電池が消耗すると、音が小さくなったりディスプレイ表示が薄くなります。そのようなときは、乾電池を新品に交換してください。

■ 電源アダプターを使用する場合

1. 本機の電源スイッチが**OFF**になっていることを確認し、電源アダプターのDCプラグを本機のDC IN 9V端子に差し込みます。

2. 電源アダプターのＡＣプラグを家庭用(AC100V)コンセントへ差し込みます。



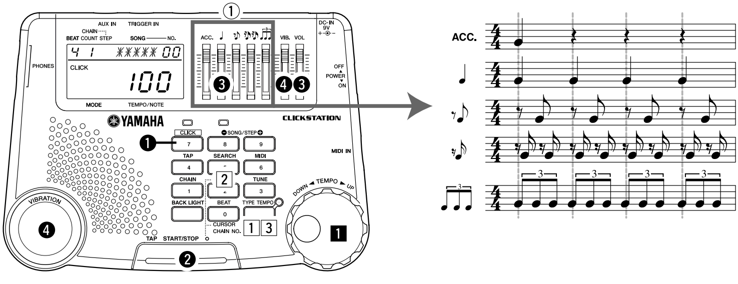
* 乾電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的に電源アダプターから供給されます。

* 電源アダプターは、必ず指定のものをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障や発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

メモリーのバックアップに関する注意

- 本機は、乾電池や電源アダプターを外した時の、データバックアップ機能を持っていません。
- 乾電池や電源アダプターを外した状態で放置すると、作成したソングやチェインプログラムのデータは消滅します。
- 記憶したデータを消さずに電池交換をするには、電源アダプターを接続した状態で電池交換するか、電池が完全に無くなる前に、3分以内で電池交換を完了してください。
- 乾電池が消耗すると、バイブレーターの振動が弱くなります。
- 液晶表示が暗くなってきたら、お早めに乾電池を交換してください。

メトロノームを使用する



メトロノームを鳴らそう

❶ CLICKボタンを押します。

❷ START/STOPボタンを押すと、メトロノームがスタートします。

❸ スライドボリュームの**4分音符**と**VOL**を上げると、音が聞こえます。

* VOLスライダーは本機の主音量です。VOLスライダーが「0」(一番下の状態)では、音は鳴りません。

【バイブレーションを活用する】

❹ VIBRATIONを押さえると、メトロノームに合わせて振動します。メトロノームが止まっているときは振動とビートインジケーターの点滅だけになります。
振動の強さは**VIB.**スライダーで変えます。

ビートの音量を変えよう

① ビートボリュームを変えると、ビートの各音量を変えることができます。(上図)

テンポを変更しよう

■1 **TEMPOダイアル**を回すと、テンポ(35〜300)が変わります。

【テンキーを使ってテンポを入力するには】

1 TYPE TEMPOボタンを押します。(ランプ点灯)

2 **テンキー**を押してテンポ値を入力します。

3 START/STOPボタンを押すと、入力したテンポでメトロノームがスタートします。

4 入力を終わるときは、TYPE TEMPOボタンを押します。(ランプ消灯)

* TYPE TEMPOのランプが点灯している状態では、テンキーは数値入力モードになっています。CLICKやSEARCHなどの機能ボタンとして使う場合は、TYPE TEMPOのランプを消灯させてください。

* メトロノームが鳴っているときにテンポを変更する場合

- 手順3でSTART/STOPボタンを押すと、押した時点でテンポが切り替わります(小節頭からスタート)。
- 手順3でTYPE TEMPOボタンを押すと、押した時の次の拍からテンポが切り替わります。

ビートを変更しよう

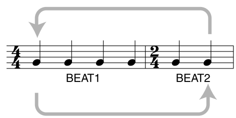
BEATボタンを押すと、ディスプレイ左上BEATの数字が点滅します。点滅中に**BEAT**ボタンを押すと、0〜9の間でビートを設定できます。2秒以上そのままにしていると、ビートの設定が確定し、元の画面に戻ります。

* ビートを設定すると、1拍目にACC.の音が鳴ります。「0」にするとACC.は鳴りません。

【ビート2を設定して、複合ビートを作る】

BEATボタンを2秒以上押すと、BEAT隣のCOUNTの数字が点滅します。点滅中に**BEAT**ボタンを押すと、−〜9の間でビート2を設定できます。2秒以上そのままにしていると、ビートの設定が確定し、元の画面に戻ります。

* ビート2を設定すると、2小節の複合ビート(変拍子)を作ることができます。



設定したソングを保存しよう

本機では、設定したメトロノームパターンをソングと呼びます。作成したソングに名前を付けて、最大86個まで記憶させることができます。

1. **STORE**ボタンを押すと、STORE画面になり、ソング名が点滅します。
2. **SONG/STEP－/＋**ボタンを押して、保存したいソングナンバーを選びます。
3. **TEMPOダイアル**を回して文字を選び、**BEAT(CURSOR)**ボタンを押して決定し、カーソルを右へ動かします。
4. **START/STOP**ボタンを押すと、ディスプレイのSTOREが2回点滅して、ソングが保存されます。

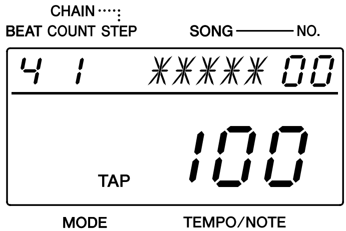
ソングを呼び出そう

本機に記憶されているソングは、**SONG/STEP－/＋**ボタンを押して選びます。

【ソングを検索するには】

1. **SEARCH**ボタンを押すと、SEARCH画面になり、ソングネームが点滅します。
2. **TEMPOダイアル**を回して、保存したソングネームの最初の文字を入力します。
3. **START/STOP**ボタンを押すと、入力した文字から始まるソングが表示されます。もう一度**START/STOP**ボタンを押すと、次のソングネームが表示されます。

タップ



タップでテンポを入力しよう

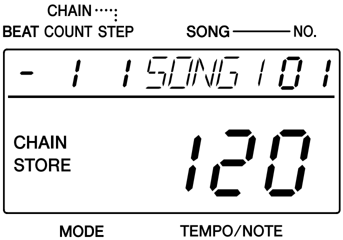
1. **TAP**ボタンを押してTAPモードにします。
2. **START/STOP(TAP)**ボタンを好きな速さで叩くと、叩いた速さを計測し、ディスプレイにテンポ値が表示されます。
3. 表示されたテンポ値でメトロノームをスタートさせるときは、**CLICK**ボタンを押したあと、**START/STOP(TAP)**ボタンを押します。

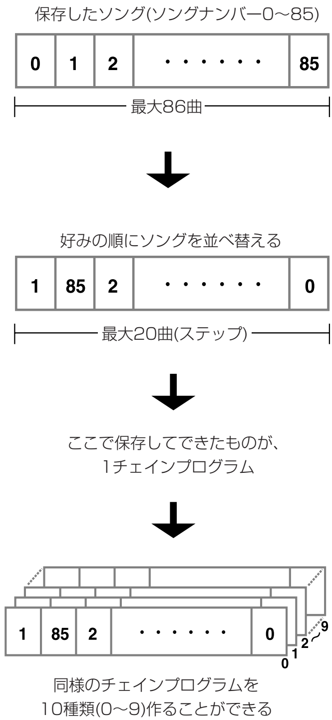
【トリガーやパッドを使って、テンポ値を入力する】

TRIGGER IN端子へDTXのパッドやドラムトリガーを接続すると、パッドを叩いたときに、**START/STOP(TAP)**ボタンを押したときと同様の機能が得られます。

* TAPモードで決めたテンポに名前を付けて保存するときは、このページの「設定したソングを保存しよう」を参照してください。
* 計測できるテンポの速さは、35〜300までです。35よりも遅い場合は「Lo」、またはテンポ値は変わりません。300よりも速い場合は「Hi」と表示されます。

チェイン





ソングを並べ替えよう

チェインとは、本機に保存したソングを自分の鳴らしたい順にプログラムする機能です。

1. **CHAIN**ボタンを押してCHAINモードにします。
2. **STORE**ボタンを押して、CHAINとSTOREを表示させます。
3. **CHAIN NO.(BEAT)**ボタンを押して、保存するチェインプログラムナンバー(0〜9)を指定します。
4. **TEMPOダイアル**を回して、1ステップ目(表示は0)にプログラムするソングを選びます。
5. **START/STOP**ボタンを押すと、ディスプレイのSTOREが2回点滅して、1ステップ目のソングが保存されます。
6. **SONG/STEP＋**ボタンを押すと、次ステップの入力が可能になります。
7. 手順4〜6をくり返して、チェインプログラムを作成します。

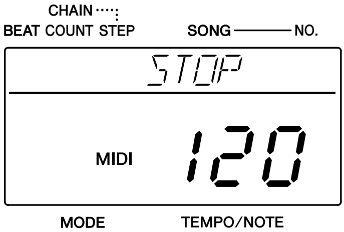
* 1つのチェインプログラムにつき、最大20ステップ(曲)のソングが保存できます。

チェインプログラムを鳴らしてみよう

1. **CHAIN**ボタンを押してCHAINモードにします。
2. **CHAIN NO.**ボタンを押して、鳴らしたいチェインプログラムナンバーを選びます。
3. **START/STOP**ボタンを押すと、1ステップ目のソングが鳴ります。
4. 次のソングを鳴らすときは、**START/STOP**ボタンを押してソングを止めたあと、**SONG/STEP＋**ボタンを押します。

* 戻すときはSONG/STEP－ボタンを押します。

MIDI

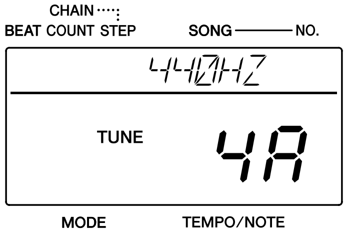


外部MIDI機器のテンポと同期させよう

1. 電源スイッチを切った状態で、外部MIDI機器のMIDI OUT端子と、本機のMIDI IN端子をMIDIケーブルを使って接続します。
2. 電源スイッチを入れて**MIDI**ボタンを押すと、MIDIモードになります。
(表示：STOP)
3. 外部MIDI機器のシーケンサーをスタートさせると、自動的にテンポを計測し表示します。(表示：START)
4. **START/STOP**ボタンを押してから(表示：MIDIが点滅)シーケンサーをスタートさせると、メトロノームとビートインジケーターが、シーケンサーに同期して動作します。

* メトロノームを動作させずにテンポ表示だけさせたい場合は、START/STOPボタンをもう一度押します。
* シーケンサーを一旦止めたあと、再スタートさせるとCONT(コンティニュー)が表示されます。
* AUX IN端子にシーケンサー側のオーディオアウトプットを接続すると、曲とメトロノームを同時に聞くことができます。
* START/STOPボタンを押してテンポ計測中に、MIDIケーブルが外れるなどのトラブルにより信号が3分間受信できない場合、ディスプレイに「STOP」が表示され計測が中止されます。

チューナー



基準音を鳴らそう

1. **TUNE**ボタンを押すと、TUNEモードになります。
2. **TEMPOダイアル**を回して、2C～6Bの間で鳴らしたい音の高さを決めます。
3. **START/STOP**ボタンを押すと、その高さで基準音が鳴ります。

【基準音のピッチを変えるには】

1. **BEAT**ボタンを押すと、438Hz～446Hzの間でピッチを変えることができます。

その他の機能

バックライト活用方法

1. **BACK LIGHT**ボタンを押すと、ディスプレイのバックライトが点灯(約20秒後に消灯)します。
2. **BACK LIGHT**ボタンを1秒以上押し続けると、バックライトが2回点滅したあと連続して点灯し続けます。(**BACK LIGHT**ボタンを押すと消灯)。

■保証とアフターサービス

● 保証書
保証書は、販売店にて「販売店印、お買い上げ年月日」の押印、記入をしてお渡し致しますので、お買い上げの際にご確認の上、大切に保管ください。

● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について
修理可能な部分は、ご要望により有料にて修理させて頂きます。但し、修理料金の金額や補修部品の保有期間の都合により、相当品の代替購入をおすすめする場合もございます。

お客様ご相談窓口
（ヤマハギター・ドラム製品に対するお問合せ窓口）

ヤマハ管弦打楽器
インフォメーションセンター

Tel：053-411-4744
（月曜日～土曜日 /10:30 ～ 19:00）
＊日曜、祝日及びセンター指定休日を除く

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町 200　ヤマハ(株)和田工場6号館2階	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町 8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134

ヤマハ株式会社　各営業所（商品に関する問い合わせ先）

EM営業統括部			
EM北海道	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
EM仙台	〒980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10	TEL (022) 222-6147
EM東京	〒108-8568	東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-5471
EM名古屋	〒460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM大阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2130
EM企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-5445

※住所及び電話番号、名称は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社　弦打楽器事業部　ギタードラム営業部　国内営業課
〒430-8650　静岡県浜松市中沢町10番1号 TEL. 053-460-2433

保証書

この度はヤマハ・クリックステーションをお買上げ戴きましてありがとうございました。本書は、本書記載内容で修理を行なう事をお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

持込修理　ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入の上お渡しください。

品名／品番		クリックステーション	製番
保証期間		本体：お買上げの日から1ヶ年間	
※お買上げ日		年　月　日	
お客様		ご住所　〒	
		お名前　様	
		電　話　(　)	
※販売店	店　名	印	
	住　所		
	電　話	(　)	

無償修理規定

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合には、最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
   (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (6) 消耗部品の交換。
   (7) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。

CLICKSTATION

Owner's Manual

Thank you for purchasing the Yamaha CLICKSTATION. To get the most out of this product, we ask that you read this Owner's Manual thoroughly before using the device. Also, after reading this manual, please keep it in a safe place for future reference.

Specifications

Metronome

Tempo: 35 - 300 beats/minute

Beats: BEAT 1:0 - 9, BEAT 2 (complex beat):– - 9

Tempo Accuracy: 0.16 %

Vibration: Pulses in sync with the tempo

Tempo LED: Flashes in sync with the tempo/beat

Tuning Pitch

Range: C2 - B6

Standard Pitch: 438 - 446 Hz

Accuracy: +/– 1 Cent

Memory

Memory Allocations: 86

Total Number of Chain Programs: 10

Steps: 20 songs (per chain program)

Input/Output

TRIGGER IN: Standard Monaural Phone Jack

MIDI IN: Standard 5-Pin DIN Connector

AUX IN: Standard Stereo Phone Jack

DC IN: +–◐–– 9V

PHONES: Standard Stereo Phone Jack x1,
Mini Stereo Phone Jack x1

Speaker

57 mm x1

Power Supply

Power Adaptor (PA-3C) or 6LR61 Battery (x1)

Dimensions

170 x 122 x 37 mm (6-11/16" x 4-13/16" x 1-7/16")

Weight (including battery)

395 g (13.9 oz)

Accessories

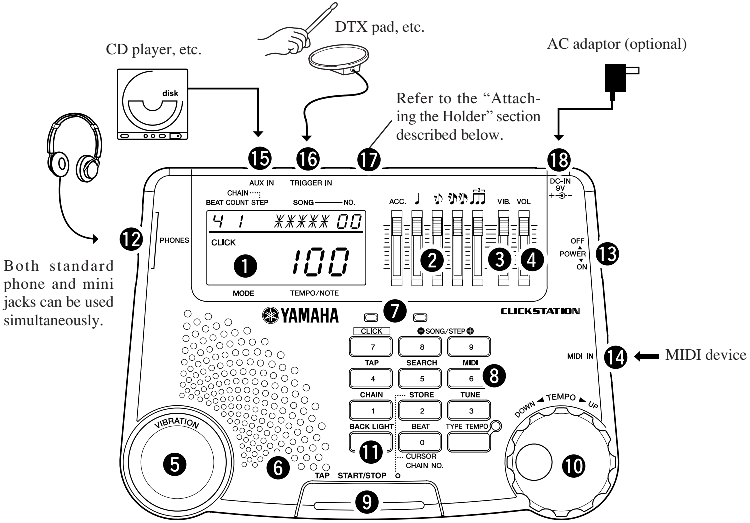
Tilt Angle, Wing Bolt, 6LR61 Battery,
Owner's Manual

** Specifications and/or design may change for reasons of improvement without notice.*

Precautions

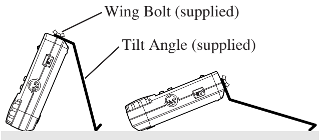
- Avoid using your CLICKSTATION in the following locations to prevent possible damage:
  - In direct sunlight or next to heating equipment.
  - Extremely cold or hot locations.
  - Locations exposed to high humidity or excessive dust.
  - Locations subject to strong shocks or vibration.
- Before making any connections, make sure that the power on the CLICKSTATION and any external devices is switched OFF.
- To protect the speaker from possible damage, always set the VOL. Slider to “0” before switching the power ON/OFF.
- Do not apply excessive force to the switches and controls.
- Your Yamaha CLICKSTATION is a precision musical instrument. Handle it with care and avoid dropping or bumping it.
- For safety, always remove the power adaptor plug from the AC wall outlet if there is any danger of lightning striking in your area.
- Keep the CLICKSTATION away from neon signs or fluorescent lighting to prevent noise pickup.
- To prevent damage and possibly electrical shock, never open the case and tamper with the internal circuitry.
- Never use benzene, thinner or other volatile liquids for cleaning, as these chemicals may cause damage or discoloration to the finish. Always use a dry, soft cloth to wipe off dust and dirt.

Nomenclature

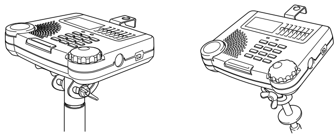


■ Attaching the Holder

Attaching the supplied tilt angle lets you set the CLICKSTATION at an angle on top of a desk, etc., for use.



Also, the CLICKSTATION can be attached to a mic stand, cymbal stand, cowbell holder, etc., using the optional mount adaptor or mic stand adaptor.



■ Front Panel

❶ Display
❷ Beat Volume
❸ Vibration Volume (VIB.)
❹ Volume (VOL.)
❺ Vibrator (VIBRATION)
❻ Speaker
❼ Beat Indicators
❽ Control Buttons
❾ Start/Stop Switch (also used as Tap Switch)
❿ Tempo Dial (TEMPO)
⓫ Back Light Switch
(auto off or continuous operation available, refer to page 18)

■ Side Panel

⓬ Headphones Jacks x2 (PHONES)
⓭ Power Switch (POWER ON/OFF)
⓮ MIDI IN jack (MIDI IN)

■ Rear Panel

⓯ External Device Input Jack (AUX IN)
⓰ Trigger Input Jack (TRIGGER IN)
⓱ Holder Attachment
⓲ Power Adaptor Jack (DC IN 9V)

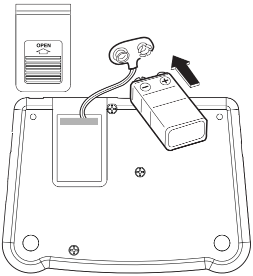
■ Using Battery Power

1. Prepare one alkaline battery (6LR61: 9V, S-006P).

   * A manganese battery can be used but battery life may be extremely short depending upon the battery type.

2. Make sure that the power switch is set to its **OFF** position then remove the battery cover from the rear panel.

3. Check the alignment and polarity markings (+/–) on the battery, attach the battery to the battery terminal then replace the battery cover.

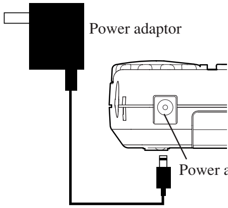


* When battery power gets low, the volume output will be reduced or the display will grow dim. If this is the case, replace the battery with a new one as soon as possible.

■ Using a Power Adaptor

1. Make sure that the power switch is set to its **OFF** position, then connect the power adaptor's DC plug into the device's DC IN 9V jack.

2. Connect the power adaptor's AC plug to an AC wall outlet.

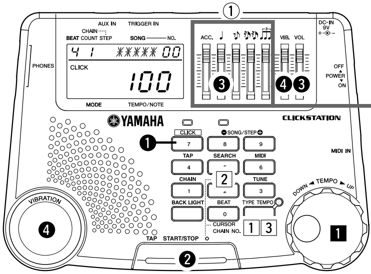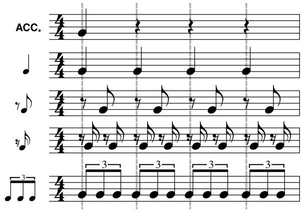


* If the power adaptor is connected when a battery is installed in the device, power is automatically supplied from the power adaptor.
* Make sure only the specified power adaptor is used. The use of any power adaptor other than the one specified may result damage, fire, etc. Doing so may void the warranty even if the device is still within the warranty period so please use caution.

Cautions Regarding Memory Backup

- This device has no data backup capabilities to preserve data when the battery is removed or when the AC adaptor is disconnected.
- If the device is left without power supplied from a battery or AC adaptor, song and chain program data created by the user will be lost.
- To replace the battery without loosing data connect the AC power adaptor to the device while changing the battery or, change the battery before battery power is completely exhausted and complete the battery changing procedure within 3 minutes.
- The device's vibrator grows weak as battery power depletes.
- When the display dims, the battery should be replaced as soon as possible.

Using the Metronome





Start the Metronome's Audio Click

❶ Press the **CLICK** button.

❷ Press the **START/STOP** button to start the metronome.

❸ Use the **Quarter Note** and **VOL** volume control sliders to increase the volume level.

* The VOL slider is used to control the device's overall volume level. When the VOL slider is set to [0] (all the way down), no sound is produced.

[Using the VIBRATION feature]

❹ Press and hold the **VIBRATION** pad and the vibrator will pulse in tempo with the metronome. When the metronome is stopped only the vibrator and flashing beat indicator will operate.

Use the **VIB.** slider to adjust the amount of vibration.

Adjust Beat Volumes

① Use the volume sliders ① for each beat to adjust individual beat volumes. (Shown in the illustration above)

Change the Tempo

■1 Rotate the **TEMPO** dial to adjust the tempo (35 - 300).

[Using the ten-key pad to set the tempo]

[1] Press the **TYPE TEMPO** button. (Lamp lights)

[2] Use the **ten-key pad** to set the tempo value.

[3] Press the **START/STOP** button and the metronome will start at the tempo you just entered.

[4] Press the **TYPE TEMPO** button to cancel the setting. (The lamp goes off.)

* When the TYPE TEMPO lamp lights, the ten-key pad is in the tempo setting mode. Turn the TYPE TEMPO lamp off when you want to use the CLICK, SEARCH, or other function buttons.

* To change the tempo when the metronome is in use:

- If the START/STOP button is pressed in step 3, the tempo will change from that instant (from beat 1).
- If the TYPE TEMPO button is pressed in step 3, the tempo will change from the next beat.

Change the Beat

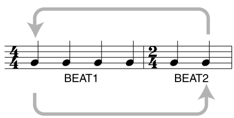
Press the **BEAT** button and the BEAT value shown on the upper left corner of the display will flash. While the BEAT value is flashing, press the **BEAT** button to set the beat value between 0 and 9. After 2 seconds, if the button is not pressed, the beat setting is entered and the display will return to its original display.

* When the beat is set, the ACC. tone will sound on the first beat of every measure. If the beat is set to [0], the ACC. tone will not sound.

[Use Beat 2 to create a complex beat or subdivisions]

Press and hold the **BEAT** button for more than 2 seconds and the COUNT value located next to the BEAT value will flash. While the COUNT value is flashing, press the **BEAT** button to set Beat 2 to a value between – and 9. After 2 seconds, if the button is not pressed, the beat setting is entered and the display will return to its original display.

* The Beat 2 setting can be used to create complex beats over 2 measures (subdivisions).



Saving Songs

In this section, metronome settings (tempo, beat, count, etc.) can be saved as a song. With the CLICKSTATION, you can create, name, and save a maximum of 86 songs.

1. Press the **STORE** button to enter the Store display and the SONG name will flash.
2. Use the **SONG**/**STEP –**/**+** buttons to select the song number to which you want to save your song.
3. Rotate the **TEMPO** dial to select a letter and then press the **BEAT (CURSOR)** button to enter the setting and move the cursor to the right.
4. Press the **START**/**STOP** button and STORE will flash two times in the display to indicate that the song is saved.

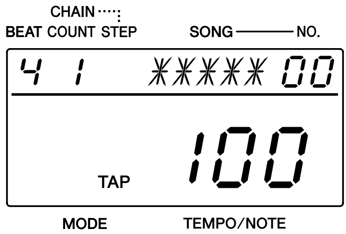
Recall a Song

Use the **SONG**/**STEP –**/**+** buttons to select a saved song.

[Search for a song]

1. Press the **SEARCH** button to enter the SEARCH display. The SONG name will flash.
2. Rotate the **TEMPO** dial to select the first letter of the saved song name you want to find.
3. Press the **START**/**STOP** button to display the song name that begins with the letter you selected. Press the **START**/**STOP** button again to display the next song name in the list.

Tap Function



Set the Tempo Using the TAP Function

1. Press the **TAP** button to enter the TAP mode.
2. Tap in tempo on the **START**/**STOP (TAP)** button. The CLICKSTATION automatically calculates the tapped tempo and displays the tempo value on the display.
3. To start the metronome at the tempo shown on the display, press the **CLICK** button and then press the **START**/**STOP (TAP)** button.

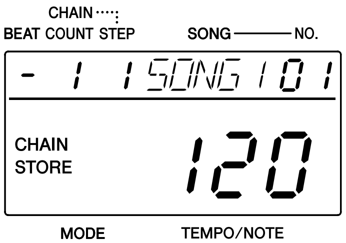
[Use a trigger or drum pad to set the tempo value]

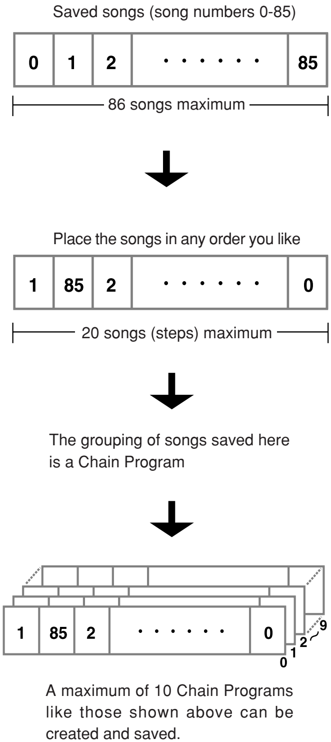
Connect a drum pad or DTX Drum Trigger to the **TRIGGER IN** jack and the pad or trigger can be used in the same manner as the **START**/**STOP (TAP)** button.

* To name and save the tempo you calculated using the TAP function, refer to the [Saving Songs] section on this page.

* The tempo can be calculated within a range of 35 and 300 beats per minute. If the tempo is slower than 35 [Lo] will be displayed, and [Hi] will be displayed if the tempo is faster than 300.

Chain Function





Changing Song Order

The Chain Function lets you place saved songs in any order you like.

1. Press the **CHAIN** button to enter the CHAIN mode.
2. Press the **STORE** button so that both CHAIN and STORE are shown on the left side of the display.
3. Press the **CHAIN NO. (BEAT)** button to select the chain program number (0 - 9) to which you want to save the chain.
4. Rotate the **TEMPO** dial to select the song that will become the first step in the chain.
5. Press the **START/STOP** button and STORE will flash two times in the display to indicate that the first step in the chain is saved.
6. Press the **SONG/STEP+** button to move to the next step and enter the setting.
7. Repeat numbers 4 through 6 above to create a chain program.

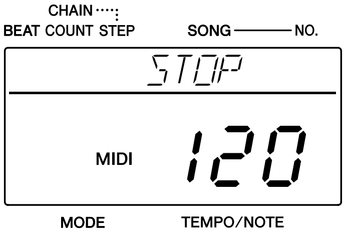
   * A maximum of 20 steps (songs) can be saved in a chain program.

Play the Chain Program

1. Press the **CHAIN** button to enter the CHAIN mode.
2. Press the **CHAIN NO.** button to select the chain program number that you want to use.
3. Press the **START/STOP** button to start the song that is set at the top of the list.
4. Press the **START/STOP** button to stop the song and then press the **SONG/STEP +** button to start the next song in the list.

   * Press the SONG/STEP – button to return to the previous song in the list.

MIDI

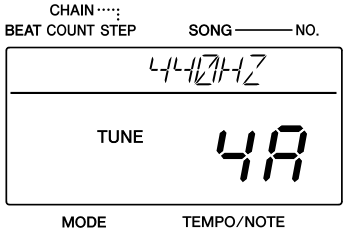


Synchronize the tempo to an external MIDI device

1. After the power is switched OFF, use a MIDI cable to connect the external MIDI device's MIDI OUT jack to the MIDI IN jack on the CLICKSTATION.
2. Turn the power switch ON and press the **MIDI** button to enter the MIDI mode. (Display: STOP)
3. When the external MIDI device's sequencer starts, its tempo is automatically calculated and shown on the display. (Display: START)
4. Press the **START/STOP** button then start the sequencer (Display: MIDI flashes) and the metronome and beat indicator will start and play in sync with the sequencer.

* To only display the tempo without metronome playback, press the START/STOP button again.
* If the sequencer is temporarily stopped, CONT (continue) appears in the display when the sequencer starts again.
* To hear the sequencer's song playback along with the metronome, connect the audio output from the sequencer to the CLICKSTATION's AUX IN jack.
* If the device cannot detect the MIDI signal (due to trouble such as a disconnected MIDI cable, etc.) within 3 minutes of pressing the START/STOP button, "STOP" will appear in the display and the calculation will quit.

Tune (Pitch) Function



Sound the Tuning Pitch

1. Press the **TUNE** button to enter the TUNE mode.
2. Rotate the **TEMPO** dial and select the note between 2C and 6B that you want to hear.
3. Press the **START/STOP** button to sound the tuning pitch that is selected.

[To change the standard pitch]

1. Press the **BEAT** button to adjust the standard pitch between 438Hz and 446Hz.

Other Functions

Using the Back Light

1. Press the **BACK LIGHT** button to light the display's back light (it will stay on for about 20 seconds and then switch off).
2. To keep the display lit continuously, press and hold the **BACK LIGHT** button for more than 1 second. The back light will flash twice then stay on. (Press the **BACK LIGHT** button to switch off the back light.)

CLICKSTATION

Mode d'emploi

Nous vous remercions d'avoir fait l'achat du CLICKSTATION Yamaha. pour avoir la certitude d'obtenir un maximum de bénéfices de ce produit, nous demandons de bien vouloir lire ce mode d'emploi dans son intégrité avant de faire usage de cet appareil. Par ailleurs, après avoir lu ce manuel, veuillez le conserver dans un endroit sûr à des fins de consultation ultérieure.

Caractéristiques techniques

Métronome

Tempo: 35 - 300 battements/minute

Battements: BEAT 1:0 - 9, BEAT 2 (battement complxe):– - 9

Précision du tempo: 0,16 %

Vibrations: Impulsions en synchronisation au tempo

Diode électroluminescente de tempo: Clignote en synchronisation au tempo/battement

Accordage de hauteur du son

Gamme: C2 - B6

Hauteur de son standard: 438 - 446 Hz

Précision: +/– 1 cent

Mémoire

Allocation de mémoire: 86

Nombre total de programmes en chaîne: 10

Pas: 20 morceaux de musique (par programme en chaîne)

Entrée/sortie

TRIGGER IN: Fiche téléphonique monaurale standard

MIDI IN: Connecteur DIN 5-broches standard

AUX IN: Fiche téléphonique stéréo standard

DC IN (Entrée courant continu): +–⊙–– 9 V

PHONES: Fiche téléphonique stéréo standard: 1, Mini fiche téléphonique stéréo: 1

Haut-parleur

57 mm x1

Source d'alimentation

Adaptateur d'alimentation (PA-3C) ou pile 6LR61 (1)

Dimensions/poids (piles incluses)

170 x 122 x 37 mm / 395 g

Accessoires

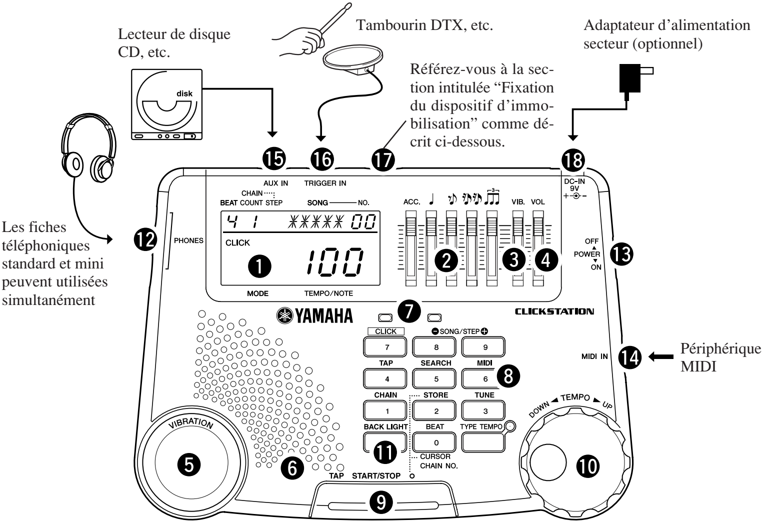
Angle d'inclinaison, Boulon à oreilles, Pile 6LR61, Mode d'emploi

** Sous réserve de modification des renseignements techniques et de l'aspect extérieur sans préavis.*

Précautions

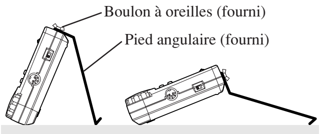
- Évitez d'utiliser votre CLICKSTATION dans les emplacements suivants pour éviter d'endommager éventuellement l'appareil:
  - In direct sunlight or next to heating equipment.
  - Exposition directe au soleil ou près d'un équipement de chauffage.
  - Emplacements extrêmement chaud ou froid.
  - Emplacements exposés à un taux d'humidité élevé ou présence excessive de poussière.
  - Emplacements soumis à des chocs violents ou de fortes vibrations.
- Avant d'effectuer le moindre raccordement, assurez-vous que le courant d'alimentation du CLICKSTATION et de tout périphérique externe est coupé.
- Afin de protéger le haut-parleur de tout endommagement éventuel, réglez toujours le curseur VOL. sur "0" avant de commuter l'alimentation sur activation ou désactivation.
- N'exercez pas de force excessive sur les commutateurs et les commandes.
- Votre CLICKSTATION Yamaha est un instrument musical de précision. Manipulez-le avec précaution et évitez de le laisser tomber par terre ou de le buter contre une surface dure.
- Par mesure de sécurité, retirez toujours la prise de l'adaptateur d'alimentation de la prise murale de sortie secteur s'il existe un danger quelconque de chute de la foudre dans votre région.
- Maintenez le CLICKSTATION éloigné des enseignes au néon ou des éclairages fluorescents afin d'éviter la récupération de bruits parasites.
- Pour éviter les dégâts et une éventuelle électrocution, n'ouvrez jamais le boîtier ni modifiez les montages électroniques internes.
- N'utilisez jamais de benzène, diluant chimique ou tout autre produit liquide volatil pour nettoyer l'appareil, étant donné ces produits chimiques peuvent endommager voire décolorer la finition extérieure. Utilisez toujours un chiffon sec et souple pour retirer la poussière et les saletés.

Nomenclature

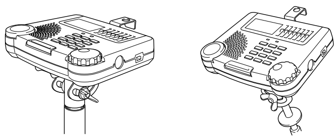


■ Fixation du dispositif d'immobilisation

La fixation du pied angulaire fourni vous permet d'installer librement le CLICKSTATION suivant l'angle d'inclinaison de votre choix sur un bureau, etc., pendant son utilisation.



Par ailleurs, le CLICKSTATION peut être fixé à un pied de microphone, un support de cymbale, un porte-clochette, etc., en utilisant l'adaptateur de fixation optionnel ou l'adaptateur de pied de microphone.



■ Panneau de façade

❶ Affichage
❷ Volume de battement
❸ Volume de vibration (VIB.)
❹ Volume (VOL.)
❺ Vibrateur (VIBRATION)
❻ Haut-parleur
❼ Indicateurs de battement
❽ Boutons de commande
❾ Commutateur marche - arrêt (également utilisé comme commutateur de tambourin)
❿ Molette de réglage de tempo (TEMPO)
⓫ Commutateur d'éclairage arrière (arrêt automatique ou fonctionnement continu disponible, se référer à la page 26)

■ Panneau latéral

⓬ Prises de casque d'écoute: 2 (PHONES)
⓭ Interrupteur d'alimentation (POWER ON/OFF)
⓮ Prise MIDI IN (MIDI IN)

■ Panneau arrière

⓯ Prise d'entrée de périphérique externe (AUX IN)
⓰ Prise d'entrée de déclenchement (TRIGGER IN)
⓱ Accessoire support
⓲ Prise d'adaptateur d'alimentation (DC IN 9V)

Préparatifs d'utilisation

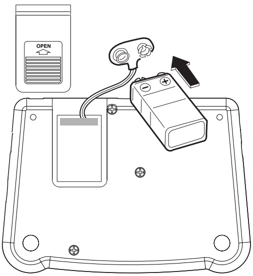
■ Utilisation de l'alimentation sur pile

1. Se munir d'une pile alcaline (6LR61: 9 V, S-006P).

* Une pile manganèse peut être utilisée mais la vie de la pile risque d'être extrêmement courte suivant le type de pile choisi.

2. Assurez-vous que l'interrupteur d'alimentation est réglé sur sa position **OFF** puis retirez le couvercle du logement de pile du panneau arrière.

3. Vérifiez l'alignement et la polarité des repérages (+/–) indiqués sur la pile, attachez la pile à la borne de pile et remettez le couvercle du logement de pile en place.

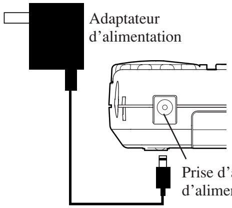


* Lorsque l'alimentation sur pile faiblit, le niveau de sortie sera réduit ou l'affichage s'assombrira. Si toutefois c'est le cas, remplacez la pile par une pile neuve dès que possible.

■ Utilisation d'un adaptateur d'alimentation

1. Assurez-vous que l'interrupteur d'alimentation est réglé sur sa position **OFF** , puis raccordez la prise d'alimentation à courant continu de l'adaptateur d'alimentation dans la prise DC IN 9V du périphérique.

2. Raccordez la prise d'alimentation secteur de l'adaptateur d'alimentation à une prise murale de sortie secteur.



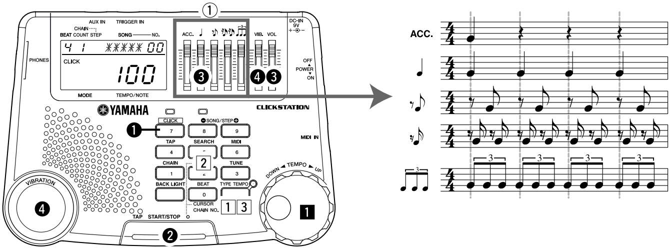
* Si l'adaptateur d'alimentation est connecté lorsqu'une pile est installée le périphérique, le courant d'alimentation est automatiquement fourni à partir de l'adaptateur d'alimentation.

* Assurez-vous que vous utilisez uniquement l'adaptateur d'alimentation spécifié. En effet, l'utilisation de tout autre adaptateur d'alimentation autre que celui spécifié peut se traduire par des dégâts, un incendie, etc. cette façon de procéder risque d'annuler la garantie même si le périphérique est toujours dans la période garantie c'est pourquoi vous devez agir avec la plus grande précaution.

Précautions relatives au secours de la mémoire

- Cet appareil ne possède aucun moyen de protection de la mémoire des données lorsque la pile est retirée ou l'adaptateur secteur débranché.
- Si vous le conservez sans alimentation, que ce soit celle de la pile ou celle de l'adaptateur secteur, les données de morceaux de musique ou de programmes de chaîne que vous avez créées, seront effacées.
- Pour remplacer la pile sans perdre les données, alimentez l'appareil au moyen de l'adaptateur secteur pendant toute la durée de l'opération, ou bien remplacez la pile avant qu'elle ne soit complètement épuisée et effectuer ce remplacement en moins de 3 minutes.
- La puissance du vibrateur de l'appareil diminue au fur et à mesure que la pile s'épuise.
- Lorsque la luminosité de l'affichage baisse, remplacez la pile dès que possible.

Utilisation du métronome



Mettez en marche le son de déclic du métronome

❶ Pressez le bouton **CLICK**.

❷ Presser le bouton **START/STOP** pour démarrer le métronome.

❸ Utilisez les curseurs de réglage **Quarter Note** et de commande de volume **VOL** pour augmenter le niveau de sortie.

* Le curseur de réglage VOL est utilisé pour contrôler le niveau de sortie général du périphérique. Lorsque le curseur de réglage VOL est installer en position [0] (en position basse maximum), aucun son n'est délivré.

[Utilisation de la fonction VIBRATION]

❹ Appuyez et immobilisez la touche **VIBRATION** pour que le vibrateur produise des impulsions au tempo du métronome. Lorsque le métronome est arrêté, seul le vibrateur et l'indicateur de battement seront en fonction. Utilisez le curseur de réglage **VIB.** pour ajuster le taux de vibrations.

Ajuster les puissances de sortie de battement

① Utilisez les curseurs de réglage volume ① de chaque battement pour ajuster les puissances de sortie de battement individuelles. (Représentées sur l'illustration ci-dessus)

Changement de tempo

1 Tourner la molette de réglage **TEMPO** pour ajuster le tempo (35 - 300).

[Utilisation du clavier à dix touches pour régler le tempo]

1 Pressez le bouton **TYPE TEMPO**. (La lampe s'allume)

2 Utilisez le **clavier à dix touches** pour régler la valeur de tempo.

3 Presser le bouton **START/STOP** pour que le métronome commence à marquer le rythme au tempo que vous venez de spécifier.

4 Pressez le bouton **TYPE TEMPO** pour annuler le paramétrage. (La lampe s'éteint.)

* Lorsque la lampe TYPE TEMPO s'allume, le clavier à dix touches est alors en mode de paramétrage de tempo. Éteignez la lampe TYPE TEMPO lorsque vous voulez utiliser CLICK, SEARCH ou les autres boutons de fonction.

* Pour changer le tempo lorsque le métronome est utilisé:
- Si le bouton START/STOP esr pressé au cours de l'étape 3, le tempo changera à partir de cet instant (à partir du battement 1).
- Si le bouton TYPE TEMPO est pressé au cours de l'étape 3, le tempo changera à partir de battement suivant.

Changement de battement

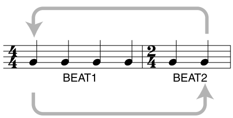
Pressez le bouton **BEAT** pour que la valeur BEAT représentée dans le coin supérieur gauche de l'affichage clignote. Alors que la valeur BEAT clignote, pressez le bouton **BEAT** pour régler la valeur de battement entre 0 et 9. Après 2 secondes, si le bouton n'est pas pressé, le paramétrage de battement est introduit et l'affichage retourne sur affichage original.

* Lorsque le battement is réglé, la tonalité ACC. retentit au premier battement de chaque mesure. Si le battement est réglé sur [0], la tonalité ACC. ne retentira pas.

[Utilisez Beat 2 pour créer un battement complexe ou des sous-divisions]

Appuyez et immobilisez le bouton **BEAT** pendant plus de 2 secondes pour que la valeur COUNT située près de la valeur BEAT clignote. Pendant que la valeur COUNT clignote, pressez le bouton **BEAT** pour régler Beat 2 sur une valeur située entre – et 9. Après 2 secondes, si le bouton n'est pas pressé, le paramétrage de battement est introduit et l'affichage retourne sur son affichage original.

* Le paramétrage Beat 2 peut être utilisé pour créer des battements complexes sur 2 mesures (sous-division).



Sauvegarde des morceaux de musique

Dans cette section, il est expliqué comment les paramétrages du métronome (tempo, battement, comptage, etc.) peuvent être sauvegardés sous la forme d'un morceau de musique. Avec le CLICKSTATION, vous pouvez créer, nommer et sauvegarder un nombre maximum de 86 morceaux de musique.

1. Pressez le bouton **STORE** pour accéder à l'affichage Store et faire que le nom SONG clignote.
2. Utilisez les boutons **SONG**/**STEP –**/**+** pour sélectionner le numéro de morceau de musique auquel vous voulez sauvegarder votre morceau de musique.
3. Manœuvrer la molette de réglage **TEMPO** pour sélectionner une lettre et pressez ensuite le bouton **BEAT (CURSOR)** pour introduire le paramétrage et déplacez le curseur vers la droite.
4. Pressez le bouton **START**/**STOP** pour que STORE clignote deux fois dans l'affichage pour indiquer que le morceau de musique a été sauvegardé.

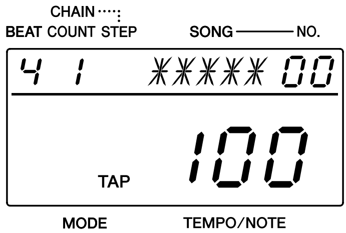
Rappel d'un morceau de musique

Utilisez les boutons **SONG**/**STEP –**/**+** pour sélectionner un morceau de musique sauvegardé.

[Recherche d'un morceau de musique]

1. Presser le bouton **SEARCH** pour accéder à l'affichage SEARCH. Le nom SONG clignotera.
2. Manœuvrez la molette de réglage **TEMPO** pour sélectionner la première lettre du nom du morceau de musique sauvegardé que vous voulez retrouver.
3. Pressez le bouton **START**/**STOP** pour afficher le nom du morceau de musique qui commence avec la lettre que vous avez sélectionnée. Pressez encore une fois le bouton **START**/ **STOP** pour afficher le nom du morceau de musique suivant dans la liste.

Fonction Tap



Réglez le tempo en utilisant la fonction TAP

1. Pressez le bouton **TAP** pour accéder à mode TAP.
2. Frappez en tempo le bouton **START**/**STOP (TAP)**. Le CLICKSTATION calcule automatiquement le tempo frappé et affiche la valeur de tempo sur l'affichage.
3. Pour démarrer le métronome au tempo indiqué dans l'affichage, pressez le bouton **CLICK** puis pressez le bouton **START**/**STOP (TAP)**.

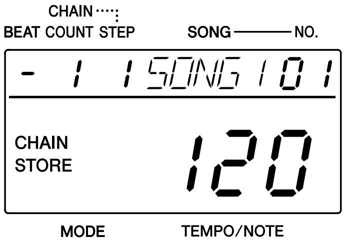
[Utilisez une touche de déclenchement ou un tambourin de batterie pour régler la valeur de tempo]

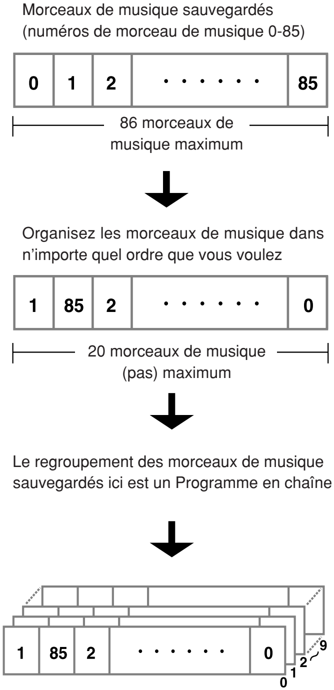
Raccordez un tambourin de batterie ou un déclencheur de batterie DTX à la prise **TRIGGER IN** pour pouvoir utiliser le tambourin ou le déclencheur de la même manière que le bouton **START**/ **STOP (TAP)**.

* Nommez et sauvegardez le tempo que vous avez calculé en utilisant la fonction TAP, référez-vous à la section [Sauvegarde de morceaux de musique] de cette page.

* Le tempo peut être calculé dans les limites de 35 et 300 battements par minute. Si le tempo est plus lent que 35 [Lo] sera affiché et [Hi] sera affiché si le tempo est plus rapide que 300.

Fonction de chaîne





Un nombre maximum de 10 programmes en chaîne comme ceux représentés ci-dessus peuvent être crées et sauvegardés.

Changement de l'ordre de morceau de musique

La fonction Chain vous permet de placer les morceaux de musique sauvegardés dans n'importe quel ordre de votre choix.

1. Pressez le bouton **CHAIN** pour accéder au mode CHAIN .
2. Pressez le bouton **STORE** de telle sorte que CHAIN et STORE soient affichés dans la partie gauche de l'affichage.
3. Pressez le bouton **CHAIN NO. (BEAT)** pour sélectionner le numéro de programme en chaîne (0 - 9) auquel vous voulez sauvegarder la chaîne.
4. Tourner la molette de réglage **TEMPO** pour sélectionner le morceau de musique qui deviendra la première étape dans la chaîne.
5. Pressez le bouton **START**/**STOP** et STORE clignotera deux fois dans l'affichage pour indiquer que le premier pas dans la chaîne est sauvegardé.
6. Pressez le bouton **SONG**/**STEP+** pour passer au pas suivant et entrer la sauvegarde.
7. Refaire les opérations mentionnées aux numéros 4 à 6 ci-dessus pour créer un programme en chaîne.

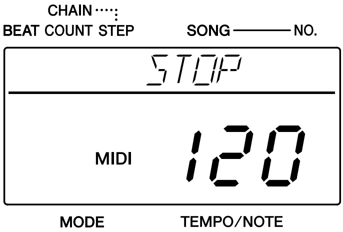
* Un nombre maximum de 20 étapes (morceaux de musique) peuvent sauvegardés dans un programme en chaîne.

Lisez le programme en chaîne

1. Pressez le bouton **CHAIN** pour accéder au mode CHAIN.
2. Pressez le bouton **CHAIN NO.** pour sélectionner le numéro de programme en chaîne que vous voulez utiliser.
3. Pressez le bouton **START**/**STOP** pour démarrer le morceau de musique qui est réglé en haut de la liste.
4. Pressez le bouton **START**/**STOP** pour arrêter la lecture du morceau de musique et pressez le bouton **SONG**/**STEP +** pour démarrer la lecture du morceau de musique suivant dans la liste.

* Pressez le bouton SONG/STEP – pour retourner au morceau de musique précédent dans la liste.

MIDI

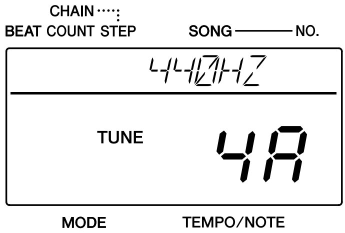


Synchronise le tempo à un périphérique externe MIDI

1. Après avoir coupé le courant d'alimentation, utilisez un câble MIDI pour raccorder la prise MIDI OUT du périphérique MIDI externe à la prise MIDI IN du CLICKSTATION.
2. 2. Tournez l'interrupteur d'alimentation en position ON et pressez le bouton **MIDI** pour accéder au mode MIDI. (Affichage: STOP)
3. Lorsque le séquenceur du périphérique externe MIDI démarre, son tempo est automatiquement calculé et indiquée dans l'affichage. (Affichage: START)
4. Pressez le bouton **START/STOP** puis démarrez le séquenceur (Affichage: MIDI clignote) afin que le métronome et l'indicateur de battement démarre et joue en synchronisation au séquenceur.

   * Pour afficher uniquement le tempo sans la reproduction du métronome, pressez encore une fois le bouton START/STOP.
   * Si le séquenceur est provisoirement arrêté, CONT (continu) apparaît dans l'affichage lorsque le séquenceur démarre à nouveau.
   * Pour écouter la lecture du morceau de musique du séquenceur en même temps que métronome, raccordez la sortie audio du séquenceur à la prise AUX IN du CLICKSTATION.
   * Si le périphérique ne peut pas détecter le signal MIDI (pour des raisons de panne telles que le débranchement d'un câble MIDI, etc.) en moins de 3 minutes de durée de pression du bouton START/STOP, "STOP" apparaîtra dans l'affichage le calcul sera interrompu.

Fonction d'accordage (hauteur de son)



Faites retentir le son de hauteur de son d'accordage

1. Pressez le bouton **TUNE** pour accéder au mode TUNE.
2. Manœuvrez la molette de réglage **TEMPO** et sélectionnez la note entre 2C et 6B que vous voulez entendre.
3. Pressez le bouton **START/STOP** pour entendre la hauteur de son d'accordage qui est sélectionnée.

[Comment changer la hauteur de son standard]

1. Pressez le bouton **BEAT** pour ajuster la hauteur de son standard entre 438 Hz et 446 Hz.

Autres fonctions

Utilisation de l'éclairage arrière

1. Pressez le bouton **BACK LIGHT** pour allumer l'éclairage arrière de l'affichage (il restera allumé pendant environ 20 secondes puis s'éteindra).
2. Pour que l'affichage puisse rester allumé en continu, appuyez et immobilisez le bouton **BACK LIGHT** pendant plus d'une seconde. L'éclairage arrière clignotera deux fois puis restera allumé. (Pressez le bouton **BACK LIGHT** pour éteindre l'éclairage arrière.)

CLICKSTATION

Bedienungsanleitung

Vielen Dank für den Kauf des Yamaha CLICKSTATION.
Lesen Sie diese Bedienungsanleitung vor Gebrauch des Geräts bitte aufmerksam durch, um sein Potential voll ausschöpfen zu können.
Bewahren Sie die Anleitung auch nach dem Lesen zur späteren Bezugnahme gut auf.

Technische Daten

Metronom

Tempo: 35 - 300 Schläge/Minute
Taktschläge: BEAT 1:0 - 9, BEAT 2 (komplexe Beats):– - 9
Tempogenauigkeit: 0,16 %
Vibration: temposynchronisiertes Pulsieren
Tempo-LED: tempo-/taktschlagsynchronisiertes Aufblinken

Stimmtonhöhe

Tonbereich: C2 - B6
Standardtonhöhe: 438 - 446 Hz
Genauigkeit: +/– 1 Cent

Speicher

Song-Speicherplätze: 86
Chain-Programme: 10
Programmschritte: 20 (Songs pro Chain-Programm)

Ein-/Ausgänge

TRIGGER IN: Standard-Mono-Klinkenbuchse
MIDI IN: Standard-DIN-Buchse (5polig)
AUX IN: Standard-Stereo-Klinkenbuchse
DC IN: +–◉–– 9 V
PHONES: Standard-Stereo-Klinkenbuchse x1, Mini-Stereo-Klinkenbuchse x1

Lautsprecher

57 mm x1

Stromversorgung

Netzadapter (PA-3C) oder Batterie (6LR61)

Abmessungen

170 x 122 x 37 x mm

Gewicht (einschließlich Batterien)

395 g

Zubehör

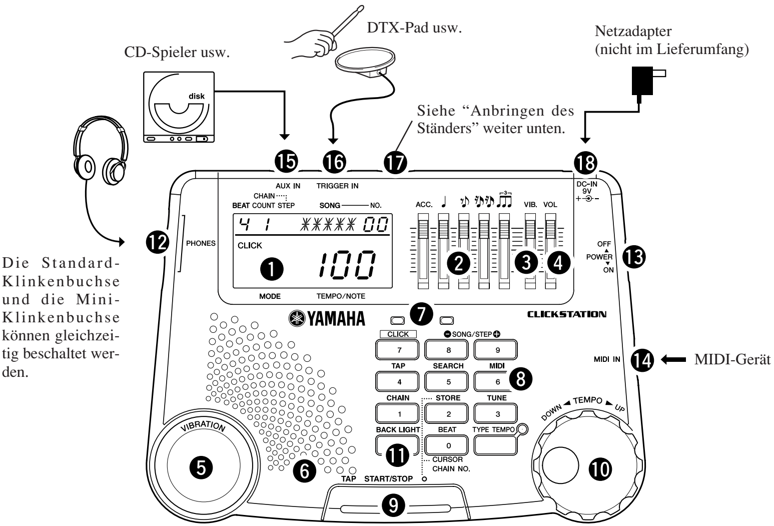
Ständer, Flügelschraube, Batterie (6LR61), Bedienungsanleitung

** Änderungen der technischen Daten und des äußeren Erscheinungsbilds ohne Vorankündigung vorbehalten.*

Vorsichtsmaßregeln

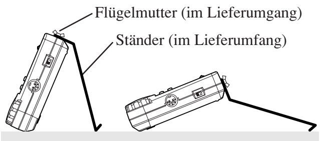
- Vermeiden Sie den Gebrauch Ihres CLICK-STATION an folgenden Orten, um eine mögliche Beschädigung zu vermeiden:
  - In direkter Sonnenbestrahlung oder neben einem Heizkörper.
  - An extrem kalten oder heißen Orten.
  - An Orten, wo das Gerät hoher Feuchtigkeit oder übermäßiger Staubeinwirkung ausgesetzt ist.
  - An Orten, wo das Gerät starken Erschütterungen oder Vibrationen ausgesetzt ist.
- Bevor Sie irgendwelche Anschlüsse herstellen, sollten Sie sich stets vergewissern, dass das CLICKSTATION sowie alle externen Geräte ausgeschaltet sind.
- Zum Schutz des Lautsprechers vor möglichen Schäden stellen Sie den VOL.-Schieberegler auf "0", bevor Sie das Gerät ein- oder ausschalten.
- Wenden Sie beim Betätigen der Schalter und Regler nicht zu viel Kraft auf.
- Bei Ihrem Yamaha CLICKSTATION handelt es sich um ein Präzisionsgerät. Behandeln Sie es mit entsprechender Umsicht, damit es nicht durch einen Stoß oder Fall beschädigt wird.
- Ziehen Sie zur Sicherheit stets den Netzadapter aus der Steckdose, wenn ein Gewitter aufzieht.
- Achten Sie bei Gebrauch des CLICKSTATION auf ausreichenden Abstand zu Leuchtreklametafeln oder Leuchtstofflampen, um unerwünschte Rauscheinstreuungen zu vermeiden.
- Um eine Beschädigung und einen möglichen elektrischen Schlag zu vermeiden, öffnen Sie bitte niemals das Gehäuse und vermeiden Sie ein Berühren der internen Schaltungen.
- Verwenden Sie zum Reinigen des Geräts niemals Benzin, Verdünner oder andere flüchtige Flüssigkeiten, da solche Chemikalien die Gehäuseoberfläche angreifen und verfärben können. Wischen Sie Staub und Schmutz mit einem trockenen, weichen Lappen ab.

Bedienelemente und Anschlüsse

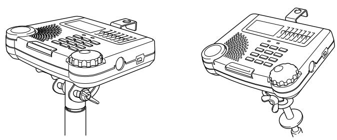


■ **Anbringen des Ständers**

Wenn Sie den mitgelieferten Ständer am CLICKSTATION anbringen, können Sie das Gerät abgewinkelt stehend auf einem Tisch o. dgl. aufstellen.



Mit dem optionalen Befestigungsadapter oder Mikrofonständer-Adapter kann das CLICKSTATION an einem Mikrofonständer, Beckenständer oder Cowbell-Halter angebracht werden.



■ **Frontplatte**

❶ Display
❷ Taktschlaglautstärke-Schieberegler
❸ Vibrationsstärke-Schieberegler (VIB.)
❹ Lautstärke-Schieberegler (VOL.)
❺ Vibrations-Pad (VIBRATION)
❻ Lautsprecher
❼ Taktschlaganzeigen
❽ Bedientasten (Zifferntasten)
❾ Start/Stopp-Schalter (dient auch als Tap-Schalter)
❿ Tempo-Rad
⓫ Schalter für Hintergrundbeleuchtung (vorübergehend oder dauerhaft einschaltbar, siehe Seite 34)

■ **Seitenwand**

⓬ Kopfhörerbuchsen (PHONES)
⓭ Ein/Aus-Schalter (POWER ON/OFF)
⓮ MIDI-Eingangsbuchse (MIDI IN)

■ **Rückwand**

⓯ Eingangsbuchse für externes Gerät (AUX IN)
⓰ Trigger-Eingangsbuchse (TRIGGER IN)
⓱ Ständergewinde
⓲ Netzadapterbuchse (DC IN 9V)

Vorbereitungen vor Gebrauch

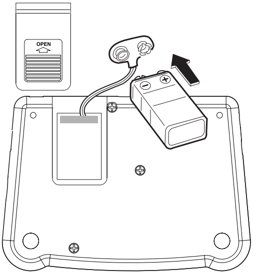
■ Für Batteriebetrieb

1. Bereiten Sie die Alkalibatterie (6LR61: 9 V, S-006P) vor.

* Im Notfall kann auch eine Manganbatterie verwendet werden, die jedoch je nach Batterietyp nicht lange vorhält.

2. Vergewissern Sie sich, dass der Ein/Aus-Schalter auf **OFF** steht, und entfernen Sie dann den Batteriefachdeckel an der Unterseite.

3. Prüfen Sie die Polmarkierungen (+/–) an der Batterie, schließen Sie die Batterie an die Klemmen an, und bringen Sie dann den Batteriefachdeckel wieder an.

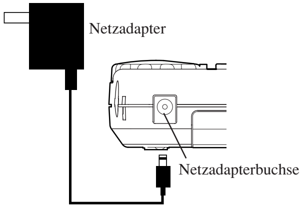


* Wenn die Restspannung der Batterie einen kritischen Wert erreicht, nehmen die Tonlautstärke und der Displaykontrast ab. Ersetzen Sie die Batterie in diesem Fall möglichst schnell durch eine neue.

■ Netzbetrieb

1. Vergewissern Sie sich, dass der Ein/Aus-Schalter auf **OFF** steht, und schließen Sie den Gleichstromstecker des Netzadapters dann an die Buchse DC IN 9V des Geräts an.

2. Stecken Sie den Netzstecker des Netzadapters in eine Steckdose.



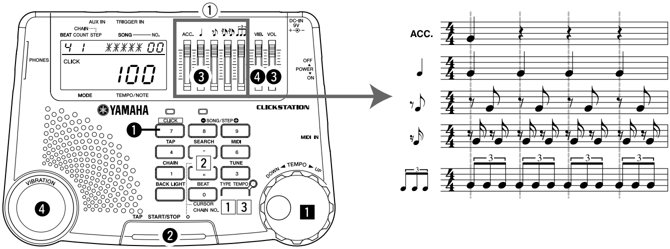
* Wenn beim Anschließen des Netzadapters eine Batterie eingelegt ist, wird automatisch auf Netzadapter-Stromversorgung geschaltet.

* Achten Sie darauf, dass Sie einen geeigneten Netzadapter verwenden. Der Gebrauch von Netzadaptern, die in dieser Anleitung nicht angeführt sind, kann Beschädigungen, einen Brand u. dgl. zur Folge haben. Dies würde auch einen Verfall aller Garantieansprüche bedeuten. Seien Sie diesbezüglich bitte vorsichtig.

Den Speicherschutz betreffende Vorsichtshinweise

- Dieses Gerät keine Speicherschutzfunktion, wenn die Stromversorgung (Batterie und Netzadapter) unterbrochen wird.
- Ohne Stromversorgung durch eine Batterie oder über einen Netzadapter gehen die vom Benutzer gespeicherten Song- und Chain-Programme verloren.
- Damit bei einem Batteriewechsel keine Daten verloren gehen, ersetzen Sie die Batterie bei angeschlossenem Netzadapter oder führen den Batterieaustausch aus, bevor die alte Batterie vollständig erschöpft ist, und beenden den Austauschvorgang innerhalb von 3 Minuten.
- Bei abnehmender Batteriespannung wird die Vibrationsfunktion des Geräts zunehmend schwächer.
- Wenn die Displayanzeige schwächer wird, sollte die Batterie möglichst bald ausgewechselt werden.

Gebrauch des Metronoms



Starten des Klick-Sounds

❶ Drücken Sie die **CLICK**-Taste.

❷ Drücken Sie die **START/STOP**-Taste, um das Metronom zu starten.

❸ Stellen Sie mit dem **Viertel**- und dem **VOL**-Schieberegler die Lautstärke ein.

* Der VOL-Regler gibt die Gesamtlautstärke des Geräts vor. Wenn der VOL-Regler auf [0] (ganz unten) steht, erzeugt das Metronom keinen Ton.

[Verwenden der VIBRATION-Funktion]

❹ Halten Sie die Hand auf das **VIBRATION**-Pad gedrückt. Sie fühlen dabei ein pulsierendes Vibrieren im Tempo des Metronoms. Bei gestopptem Metronom arbeiten nur die VIBRATION-Funktion und die Taktschlaganzeige.
Die Vibrationsstärke wird mit dem **VIB.**-Schieberegler eingestellt.

Einstellen der Taktschlaglautstärke

① Stellen Sie die Lautstärke der einzelnen Taktschlagarten mit den Lautstärke-Schiebereglern ① ein. (Siehe oben abgedruckte Abbildung.)

Ändern des Tempos

1 Stellen Sie das Tempo mit dem **TEMPO**-Rad ein (35 - 300).

[Einstellung mit den Zifferntasten]

1 Drücken Sie die **TYPE TEMPO**-Taste. (Anzeigelampe leuchtet.)

2 Geben Sie den Tempowert über die **Zifferntasten** ein.

3 Drücken Sie die **START/STOP**-Taste, um das Metronom mit dem eingegebenen Tempo zu starten.

4 Drücken Sie die **TYPE TEMPO**-Taste, um den Eingabemodus aufzuheben. (Die Anzeigelampe erlischt.)

* Während die TYPE TEMPO-Anzeigelampe leuchtet, befindet sich die Zifferntastatur im Tempo-Eingabemodus. Wenn Sie die CLICK-, SEARCH- oder eine andere Funktionstaste verwenden möchten, müssen Sie die TYPE TEMPO-Anzeigelampe ausschalten.

* Wenn Sie das Tempo ändern, während das Metronom spielt:
- Wenn in Schritt 3 die START/STOP-Taste gedrückt wird, ändert sich das Tempo sofort (ab Taktschlag 1).
- Wenn in Schritt 3 die TYPE TEMPO-Taste gedrückt wird, ändert sich das Tempo am nächsten Takt.

Ändern des Beats

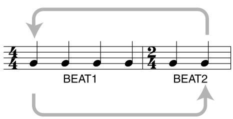
Wenn Sie die **BEAT**-Taste drücken, blinkt der BEAT-Wert (Anzahl Taktschläge) in der oberen linken Ecke des Displays. Während der BEAT-Wert blinkt, können Sie ihn mit der **BEAT**-Taste verändern (0 bis 9). Die vorgenommene Einstellung wird 2 Sekunden nach der letzten Tastenbetätigung aktiv, wonach wieder die normale Anzeige auf dem Display zu sehen ist.

* Bei der Beat-Einstellung wird der erste Schlag jedes Taktes betont (ACC.-Sound). Wenn Sie als Beat-Wert [0] einstellen, ist keine Betonung zu hören.

[Erstellen eines komplexen Beats oder einer längeren Taktschlagfolge mit Beat 2]

Wenn Sie die **BEAT**-Taste mindestens 2 Sekunden lang gedrückt halten, blinkt der COUNT-Wert neben dem, BEAT-Wert. Während der COUNT-Wert blinkt, können Sie Beat 2 mit der **BEAT**-Taste auf einen Wert zwischen - und 9 einstellen. Die vorgenommene Einstellung wird 2 Sekunden nach der letzten Tastenbetätigung aktiv, wonach wieder die normale Anzeige auf dem Display zu sehen ist.

* Mit Beat 2 können Sie komplexe Beats programmieren, die sich über 2 Takte erstrecken.



Speichern von Songs

In diesem Abschnitt erfahren Sie, wie Sie Metronomeinstellungen (Tempo, Beat, Count usw.) als Song speichern. Sie können mit Ihrem CLICKSTATION bis zu 86 solcher Songs erstellen, benennen und abspeichern.

1. Drücken Sie die **STORE**-Taste, um den Speichermodus aufzurufen. Die SONG-Anzeige blinkt zur Bestätigung auf dem Display.
2. Wählen Sie mit den **SONG**/**STEP**-Tasten **(–/+)** die Songnummer, unter der Sie Ihren Song speichern möchten.
3. Drehen Sie zum Benennen des Songs am **TEMPO**-Rad, um das erste Zeichen des Namens zu wählen, und drücken Sie dann die **BEAT**-Taste **(CURSOR)**. Der Cursor rückt dabei um eine Schreibstelle nach rechts.
4. Drücken Sie nach der Eingabe des Namens die **START**/**STOP**-Taste. Zweimaliges Aufblinken von STORE auf dem Display bestätigt, dass der Song gespeichert wurde.

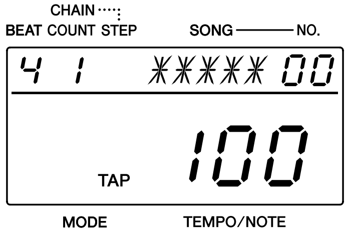
Abrufen eines gespeicherten Songs

Gespeicherte Songs können mit den **SONG**/**STEP**-Tasten **(–/+)** aufgerufen werden.

[Suche nach einem Song]

1. Drücken Sie die **SEARCH**-Taste, um den Suchmodus aufzurufen. Die SONG-Anzeige blinkt auf dem Display.
2. Drehen Sie am **TEMPO**-Rad, um das erste Zeichen des Namens zu wählen, unter dem Sie den gesuchten Song abgespeichert haben.
3. Drücken Sie die **START**/**STOP**-Taste. Der erste Song, dessen Name mit dem gewählten Zeichen beginnt, wird angezeigt. Danach können Sie durch erneutes Drücken der **START**/**STOP**-Taste den jeweils nächsten Song in der Liste aufrufen.

Tap-Funktion



Einstellen des Tempos mit der Tap-Funktion

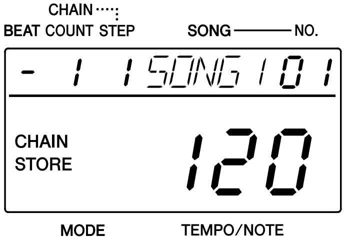
1. Drücken Sie die **TAP**-Taste, um den TAP-Modus zu aktivieren.
2. Tippen Sie die **START**/**STOP (TAP)**-Taste im gewünschten Tempo an. Das CLICK-STATION errechnet den Tempowert anhand dieser Tempovorgabe automatisch und zeigt ihn auf dem Display an.
3. Zum Starten des Metronoms im angezeigten Tempo drücken Sie die **CLICK**-Taste und danach die **START**/**STOP (TAP)**-Taste.

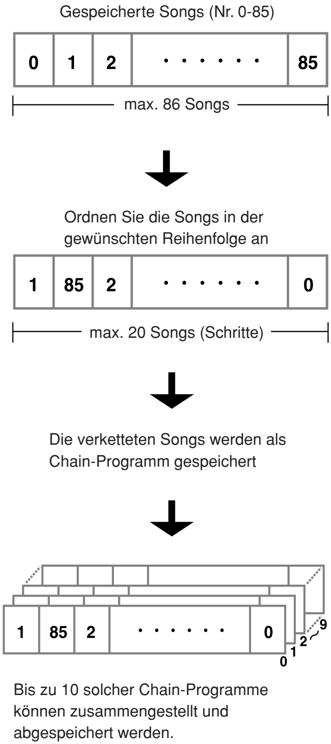
[Einstellen des Tempos mit einem Trigger oder Drum-Pad]

Schließen Sie ein Drum-Pad oder einen Trigger an die **TRIGGER IN**-Buchse an. Das Drum-Pad bzw. der Trigger hat dieselbe Funktion wie die **START**/**STOP (TAP)**-Taste.

* Sie können das per TAP-Funktion vorgegebene und berechnete Tempo speichern, wie im Abschnitt [Speichern von Songs] auf dieser Seite beschrieben.

* Die Berechnung des Tempos ist im Bereich von 35 bis 300 Schlägen pro Minute möglich. Bei einer Tempovorgabe, die langsamer ist als 35, wird [Lo] angezeigt, bei einer schnelleren Tempovorgabe als 300 [Hi].





Ändern der Song-Reihenfolge

Mit der Chain-Funktion können Sie gespeicherte Songs in einer beliebigen Reihenfolge anordnen und als Programm speichern.

1. Drücken Sie die **CHAIN**-Taste, um den CHAIN-Modus aufzurufen.
2. Drücken Sie die **STORE**-Taste. CHAIN und STORE werden zur Bestätigung links auf dem Display angezeigt.
3. Drücken Sie die **CHAIN NO.**-Taste **(BEAT)**, um die Chain-Programmnummer (0 - 9) zu wählen, unter der die Song-Kette gespeichert werden soll.
4. Drehen Sie am **TEMPO**-Rad, um den Song zu wählen, der am ersten Schritt des Chain-Programms stehen soll.
5. Drücken Sie die **START/STOP**-Taste. Zweimaliges Aufblinken von STORE im Display zeigt an, dass der erste Schritt des Chain-Programms gespeichert ist.
6. Drücken Sie die **SONG/STEP**-Taste **+**, um zum nächsten Schritt überzugehen und diesen zu programmieren.
7. Wiederholen Sie Schritte 4 bis 6, um das Chain-Programm zu vervollständigen.

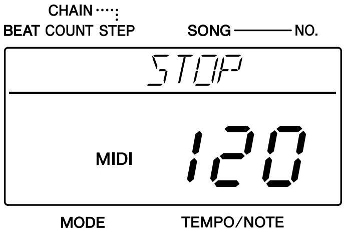
* Das Chain-Programm kann maximal aus 20 Schritten (Songs) bestehen.

Abspielen eines Chain-Programms

1. Drücken Sie die **CHAIN**-Taste, um den CHAIN-Modus aufzurufen.
2. Drücken Sie die **CHAIN NO.**-Taste, um die Nummer (0 - 9) des gewünschten Chain-Programms zu wählen.
3. Drücken Sie die **START/STOP**-Taste. Der erste Song des Programms wird gespielt.
4. Drücken Sie die **START/STOP**-Taste, um den ersten Song zu stoppen, und starten Sie dann durch einen Druck auf die **SONG/STEP**-Taste **+** den nächsten Song des Programms.

* Mit der SONG/STEP-Taste - können Sie zum vorangehenden Song des Programms zurückgehen.

MIDI



Synchronisieren des Tempos zu einem externen MIDI-Gerät

1. Schalten Sie die Geräte aus (OFF). Verbinden Sie die MIDI OUT-Buchse des externen MIDI-Geräts über ein MIDI-Kabel mit der MIDI IN-Buchse des CLICKSTATION.
2. Schalten Sie die Geräte ein (ON). Drücken Sie die **MIDI**-Taste, um den MIDI-Modus aufzurufen. (STOP wird auf dem Display angezeigt.)
3. Wenn der Sequenzer des externen MIDI-Geräts anläuft, wird sein Tempo automatisch errechnet und auf dem Display angezeigt. (START wird auf dem Display angezeigt.)
4. Drücken Sie die **START**/**STOP**-Taste und starten Sie dann den Sequenzer (MIDI blinkt auf dem Display). Der Metronomsound und die Taktschlaganzeige sind nun mit dem Sequenzer synchronisiert.

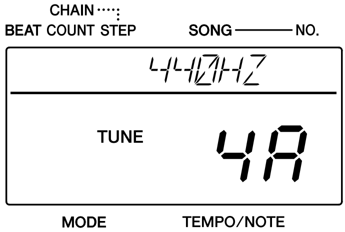
* Wenn nur das Tempo angezeigt werden soll und kein Metronomsound gewünscht ist, drücken Sie die START/STOP-Taste ein weiteres Mal.

* Wenn der Sequenzer vorübergehend gestoppt wurde, erscheint beim erneuten Starten des Sequenzers CONT (Fortsetzung) auf dem Display.

* Wenn der Sequenzer-Song zusammen mit dem Metronomsound wiedergegeben werden soll, verbinden Sie den Audioausgang des Sequenzers mit der AUX IN-Buchse des CLICKSTATION.

* Wenn das Metronom nach Drücken der START/STOP-Taste 3 Minuten lang kein MIDI-Signal erfasst (MIDI-Kabel gelöst oder andere Störung), erscheint “STOP” auf dem Display, und die Tempoberechnung wird abgebrochen.

Tune-Funktion (Stimmton)



Wiedergeben des Stimmtons

1. Drücken Sie die **TUNE**-Taste, um den TUNE-Modus aufzurufen.
2. Wählen Sie mit dem **TEMPO**-Rad den wiederzugebenden Ton (2C bis 6B).
3. Drücken Sie die **START**/**STOP**-Taste. Das Gerät erzeugt den Stimmton in der eingestellten Höhe.

[Ändern der Standardtonhöhe]

1. Stellen Sie die Standardtonhöhe (438-446 Hz) mit der **BEAT**-Taste ein.

Andere Funktionen

Gebrauch der Hintergrundbeleuchtung

1. Drücken Sie die **BACK LIGHT**-Taste, um die Hintergrundbeleuchtung des Displays einzuschalten (sie bleibt etwa 20 Sekunden lang aktiviert).
2. Zum dauerhaften Einschalten der Hintergrundbeleuchtung halten Sie die **BACK LIGHT**-Taste mindestens 1 Sekunde lang gedrückt. Die Beleuchtung blinkt zweimal auf und bleibt danach eingeschaltet. (Zum Ausschalten drücken Sie die **BACK LIGHT**-Taste ein weiteres Mal.)

CLICKSTATION

Manual del usuario

Muchas gracias por la adquisición de este metrónomo CLICKSTATION Yamaha. Para aprovechar todas las ventajas del producto, le aconsejamos que lea detenidamente este manual del usuario antes de utilizarlo. Después de haber leído este manual, guárdelo en un lugar seguro para poderlo consultar en el futuro.

Especificaciones

Metrónomo

Tempo: 35 - 300 tiempos/minuto

Tiempos: BEAT 1:0 - 9, BEAT 2 (tiempo completo):– - 9

Precisión del tempo: 0,16 %

Vibración: Pulsos en sincronización con el tempo

LED indicador del tempo: Parpadea en sincronización con el tempo/tiempo

Tono de afinación

Margen: C2 - B6

Tono estándar: 438 - 446 Hz

Precisión: +/– 1 centésima

Memoria

Asignaciones de memoria: 86

Número total de programas en cadena: 10

Pasos: 20 canciones (por programa en cadena)

Entrada/salida

TRIGGER IN: Toma telefónica monofónica estándar

MIDI IN: Conector DIN estándar de 5 contactos

AUX IN: Toma telefónica estéreo estándar

DC IN: +–◐–– 9V

PHONES: Toma de auriculares estéreo estándar x 1, Toma telefónica estéreo mini x 1

Altavoz

57 mm x1

Alimentación

Adaptador de alimentación (PA-3C) o pila 6LR61 x1

Dimensiones/peso (pila incluida)

170 x 122 x 37 mm / 395 g

Accesorios

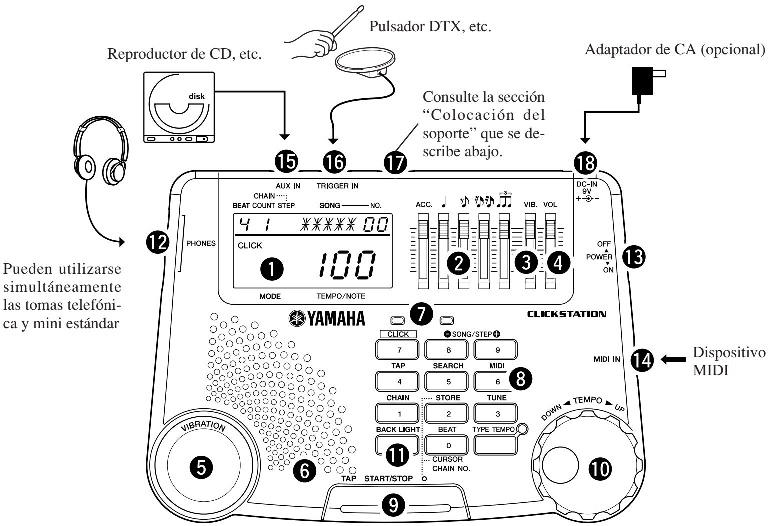
Soporte angular de inclinación, perno de aletas, pila 6LR61, manual del usuario

** Las especificaciones y el diseño están sujetos a cambios sin previo aviso.*

Precauciones

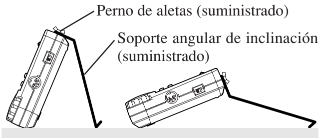
- No utilice el CLICKSTATION en los lugares siguientes con el fin de evitar posibles daños:
  - Bajo la luz directa del sol o al lado de aparatos de calefacción.
  - Lugares muy fríos o muy calientes.
  - Lugares expuestos a alta humedad o a polvo excesivo.
  - Lugares sujetos a golpes fuertes o vibraciones.
- Antes de efectuar cualquier conexión, asegúrese de que la alimentación del CLICKSTATION y de los dispositivos externos esté desconectada.
- Para proteger el altavoz contra posibles daños, ajuste siempre el control deslizante VOL. del volumen en “0” antes de conectar y desconectar la alimentación.
- No aplique fuerza excesiva a los interruptores ni controles.
- Su CLICKSTATION Yamaha es un instrumento musical de precisión. Manipúlelo con cuidado y procure que no se caiga al suelo ni reciba golpes.
- Por razones de seguridad, desenchufe siempre la clavija del adaptador de alimentación de la toma de corriente de CA si existe el peligro de rayos en su localidad.
- Mantenga el CLICKSTATION apartado de signos de neón y luces fluorescentes para evitar la captación de ruido.
- Para evitar daños y la posibilidad de descargas eléctricas, no abra nunca la caja ni toque los circuitos internos.
- No emplee nunca bencina, disolvente, ni otros líquidos volátiles para la limpieza del aparato, porque estos productos químicos pueden causar daños o decoloración en el acabado. Emplee siempre un paño seco y suave para frotar el polvo y la suciedad.

Nomenclatura

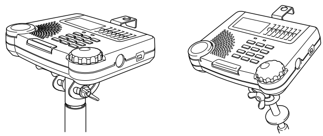


■ Colocación del soporte

La colocación del soporte angular de inclinación le permite poner el CLICKSTATION en cualquier ángulo para utilizarlo encima de una mesa, etc.



Además, podrá montar el CLICKSTATION en un soporte de micrófono, platillo, cencerro, etc. empleando el adaptador de montaje o el adaptador de soporte de micrófono opcionales.



■ Panel frontal

❶ Visualizador
❷ Volumen del tiempo
❸ Volumen de vibración (VIB.)
❹ Volumen (VOL.)
❺ Vibrador (VIBRATION)
❻ Altavoz
❼ Indicadores de tiempo
❽ Botones de control
❾ Interruptor de inicio / parada (se emplea también como interruptor de pulsador)
❿ Dial del tempo (TEMPO)
⓫ Interruptor de retroiluminación (desconexión automática u operación continua disponibles, consulte la página 42)

■ Panel lateral

⓬ Tomas de auriculares x 2 (PHONES)
⓭ Interruptor de la alimentación (POWER ON/OFF)
⓮ Toma de entrada MIDI (MIDI IN)

■ Panel posterior

⓯ Toma de entrada de dispositivo externo (AUX IN)
⓰ Toma de entrada de circuito activador (TRIGGER IN)
⓱ Colocación del soporte
⓲ Toma del adaptador de alimentación (DC IN 9V)

Preparativos para la utilización

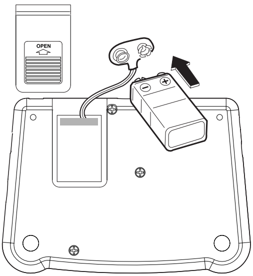
■ Funcionamiento con alimentación de la pila

1. Prepare una pila alcalina (6LR61: 9V, S-006P).

* Puede utilizarse una pila manganesa, pero la vida útil de la pila será muy corta dependiendo del tipo de pila.

2. Asegúrese de que el interruptor de la alimentación esté ajustado en la posición **OFF** y saque entonces la tapa de la pila del panel posterior.

3. Compruebe la alineación y las marcas de las polaridades (+/–) de la pila, coloque la pila en el terminal de la pila y vuelva a colocar la tapa de la pila.

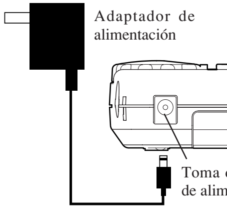


* Cuando queda poca carga en la pila, se reduce el volumen del sonido o se atenúa la iluminación del visualizador. En estos casos, reemplace la pila por otra nueva lo antes que sea posible.

■ Empleo de un adaptador de alimentación

1. Asegúrese de que el interruptor de la alimentación esté en la posición **OFF**, , y conecte entonces la clavija de CC del adaptador de alimentación en la toma DC IN 9V del aparato.

2. Enchufe la clavija de CA del adaptador de CA en una toma de corriente de CA de la pared.



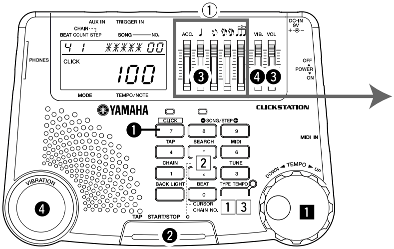
* Si se conecta el adaptador de alimentación cuando hay una pila instalada en el aparato, la alimentación se suministrará automáticamente desde el adaptador de alimentación.
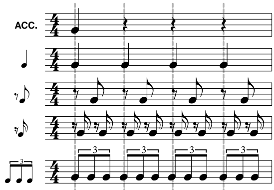
* Asegúrese de emplear sólo el adaptador de alimentación especificado. El empleo de cualquier otro adaptador que no sea el especificado puede ocasionar daños, incendios, etc. Si no respeta esta precaución, cancelará la garantía aunque el aparato todavía esté dentro del período de garantía, por lo que deberá ir con cuidado.

Precauciones relacionadas con la copia de seguridad de la memoria

- Este dispositivo no está dotado para hacer copias de seguridad de los datos para conservar los datos cuando se extrae la pila o cuando se desenchufa el adaptador de CA.
- Si se deja el dispositivo sin suministro de alimentación de una pila o del adaptador de CA, se perderán las canciones y los datos de los programas en cadena creados por el usuario.
- Para reemplazar la pila sin perder los datos, enchufe el adaptador de alimentación de CA al dispositivo mientras cambia la pila, o cambie la pila antes de que la carga de la misma se haya agotado por completo y complete el procedimiento de reemplazo de la pila antes de que transcurran 3 minutos.
- El vibrador de este dispositivo se debilita a medida que se gasta la carga eléctrica de la pila.
- Cuando se atenúa el visualizador, deberá reemplazar la pila tan pronto como sea posible.

Empleo del metrónomo





Inicie el sonido de clic del metrónomo

❶ Presione el botón **CLICK**.

❷ Presione el botón **START/STOP** para iniciar el metrónomo.

❸ Emplee los controles deslizantes de **notas negras** y **VOL** para incrementar el nivel del volumen.

* El control deslizante VOL se emplea para controlar el nivel de volumen general del aparato. Cuando el control deslizante VOL se ajusta en [0] (completamente abajo), no se producirá sonido.

[Empleo de la función de VIBRACIÓN]

❹ Presione y mantenga presionado el pulsador **VIBRATION** y el vibrador se pulsará con un tempo sincronizado con el metrónomo. Cuando se pare el metrónomo, sólo funcionarán el vibrador y el indicador del tiempo parpadeante. Emplee el control deslizante **VIB.** para ajustar la intensidad de vibración.

Ajuste los volúmenes de los tiempos

① Emplee los controles deslizantes de volumen ① para cada tiempo para ajustar los volúmenes de los tiempos individuales. (Mostrados en la ilustración de arriba.)

Cambie el tempo

1 Gire el dial **TEMPO** para ajustar el tempo (35 - 300).

[Empleo del teclado de diez teclas para ajustar el tempo]

1 Presione el botón **TYPE TEMPO**. (Se enciende la luz.)

2 Emplee el teclado de diez teclas para ajustar el valor del tempo.

3 Presione el botón **START/STOP** para iniciar el metrónomo al tempo que usted acaba de introducir.

4 Presione el botón **TYPE TEMPO** para cancelar el ajuste. (Se apaga la luz.)

* Cuando se enciende la luz de TYPE TEMPO, el teclado de diez teclas estará en el modo de ajuste del tempo. Apague la luz de TYPE TEMPO cuando desee emplear los botones CLICK, SEARCH, u otros botones de funciones.

* Para cambiar el tempo cuando se está utilizado el metrónomo:

- Si se presiona el botón START/STOP en el paso 3, el tempo cambiará desde ese momento (desde el tiempo 1).
- Si se presiona el botón TYPE TEMPO en el paso 3, el tempo cambiará desde el tiempo siguiente.

Cambie el tiempo

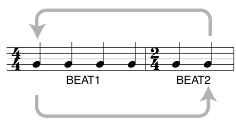
Presione el botón **BEAT** y parpadeará el valor de BEAT indicado en la esquina superior izquierda del visualizador. Mientras parpadea el valor de BEAT, presione el botón **BEAT** para ajustar el valor del tiempo entre 0 y 9. Después de 2 segundos, no se presiona el botón, el ajuste del tiempo se establecerá y el visualizador mostrará de nuevo la visualización original.

* Cuando se ajusta el tiempo, sonará el tono de ACC. en el primer tiempo de cada compás. Si se ajusta el tiempo a [0], no sonará el tono de ACC.

[Emplee el tiempo 2 para crear un tiempo completo o subdivisiones]

Presione y mantenga presionado el botón **BEAT** durante más de 2 segundos y parpadeará el valor de la cuenta (COUNT) situado al lado del valor del tiempo (BEAT). Mientras parpadee el valor de COUNT, presione el botón **BEAT** para ajustar el tiempo (Beat) 2 a un valor entre 0 y 9. Después de 2 segundos, si no se presiona el botón, el ajuste del tiempo se establecerá y el visualizador mostrará de nuevo la visualización original.

* El ajuste del tiempo 2 podrá utilizarse para crear tiempos complejos de más de 2 compases (subdivisiones).



Almacenamiento de canciones

En esta sección, podrán guardarse los ajustes del metrónomo (tempo, tiempo, cuenta, etc.) como una canción. Con el CLICKSTATION podrá crear, poner nombres y guardar un máximo de 86 canciones.

1. Presione el botón **STORE** para establecer la visualización de almacenamiento (Store) y parpadeará el nombre de la canción (SONG).
2. Emplee los botones **SONG**/**STEP –**/**+** para seleccionar el número de canción en el que desee guardar su canción.
3. Gire el dial **TEMPO** para seleccionar una letra y presione luego el botón **BEAT (CURSORT)** para introducir el ajuste y mover el cursor a la derecha.
4. Presione el botón **START**/**STOP** y parpadeará dos veces STORE en el visualizador para indicarle que la canción ha sido almacenada.

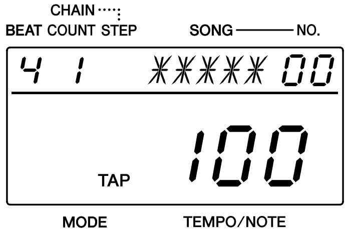
Carga de una canción

Emplee los botones **SONG**/**STEP –**/**+** para seleccionar una de las canciones almacenadas.

[Búsqueda de una canción]

1. Presione el botón **SEARCH** para establecer la visualización de búsqueda (SEARCH). El nombre de la canción (SONG) parpadeará.
2. Gire el dial **TEMPO** para seleccionar la primera letra del nombre de la canción almacenada que desee encontrar.
3. Presione el botón **START**/**STOP** para visualizar el nombre de la canción que empieza por la letra que usted haya seleccionado. Presione el botón **START**/**STOP** otra vez para visualizar el nombre de la canción siguiente de la lista.

Función TAP



Ajuste el tempo empleando la función TAP

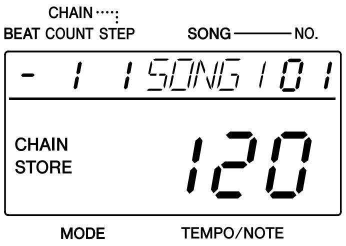
1. Presione el botón **TAP** para establecer el modo TAP.
2. Golpee al tempo el botón **START**/**STOP (TAP)**. El CLICKSTATION calculará automáticamente el tempo golpeado y mostrará el valor del tempo en el visualizador.
3. Para iniciar el metrónomo al tempo mostrado en el visualizador, presione el botón **CLICK** y luego presione el botón **START**/**STOP (TAP)**.

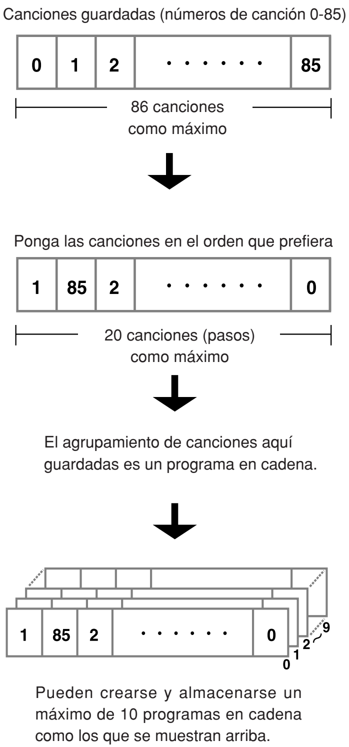
[Empleo de un circuito activador (trigger) o de un pulsador de batería para ajustar el valor del tempo]

Conecte un pulsador de batería o un Trigger de batería DTX a la toma **TRIGGER IN** y el pulsador o trigger podrá emplearse del mismo modo que el botón **START**/**STOP (TAP)**.

* Para ponerlo un nombre y guardar el tempo que usted ha calculado empleando la función TAP, consulte la sección [Almacenamiento de canciones] de esta página.
* El tempo puede calcularse dentro de un margen de 35 a 300 tiempos por minuto. Si el tempo es más lento que 35 se visualizará [Lo], y si es más rápido que 300, se visualizará [Hi].

Función de encadenamiento





Cambio del orden de las canciones

La función de encadenamiento (Chain) le permite poner las canciones en el orden que usted prefiera.

1. Presione el botón **CHAIN** para establecer el modo CHAIN.
2. Presione el botón **STORE** para que CHAIN y STORE se muestren a la izquierda del visualizador.
3. Presione el botón **CHAIN NO. (BEAT)** para seleccionar el número de programa en cadena (0 - 9) en el que desee guardar la cadena.
4. Gire el dial **TEMPO** para seleccionar la canción que deberá ser el primer paso de la cadena.
5. Presione el botón **START/STOP** y parpadeará dos veces STORE en el visualizador para indicar que se ha almacenado el primer paso de la cadena.
6. Presione el botón **SONG/STEP+** para pasar al siguiente paso y establecer el ajuste.
7. Repita los pasos 4 al 6 anteriores para crear un programa de cadena.

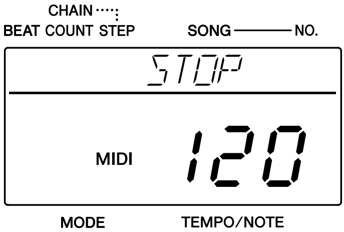
   * Podrán almacenare un máximo de 20 pasos (canciones en un programa en cadena.

Reproducción del programa en cadena

1. Presione el botón **CHAIN** para establecer el modo CHAIN.
2. Presione el botón **CHAIN NO.** para seleccionar el número de programa en cadena que desee utilizar.
3. Presione el botón **START/STOP** para iniciar la canción que se ha establecido al principio de la lista.
4. Presione el botón **START/STOP** para detener la canción y luego presione el botón **SONG/STEP+** para iniciar la siguiente canción de la lista.

   * Presione el botón SONG/STEP– para volver a la canción anterior de la lista.

MIDI



Sincronización del tempo con un dispositivo MIDI externo

1. Después de haber desconectado la alimentación, emplee un cable MIDI para conectar la toma MIDI OUT del dispositivo MIDI externo a la toma MIDI IN del CLICKSTATION.
2. Conecte el interruptor de la alimentación y presione el botón **MIDI** para establecer el modo MIDI. (Visualización: STOP)
3. Cuando se inicie el secuenciador del dispositivo MIDI externo, su tempo se calculará automáticamente y se mostrará en el visualizador. (Visualización: START)
4. Presione el botón **START**/**STOP** y luego inicie el secuenciador (Visualización: MIDI parpadea) y se iniciarán el metrónomo y el indicador del tiempo y se reproducirán en sincronización con el secuenciador.

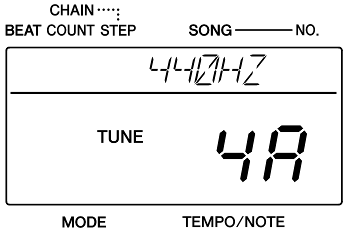
* Para visualizar sólo el tempo sin la reproducción del metrónomo, presione de nuevo el botón START/STOP.

* Si se detiene temporalmente el secuenciador, aparecerá CONT (continuar) en el visualizador cuando se inicie de nuevo el secuenciador.

* Para escuchar la reproducción de la canción del secuenciador junto con el metrónomo, conecte la salida de audio desde el secuenciador a la toma AUX IN del CLICKSTATION.

* Si el dispositivo no puede detectar la señal MIDI (debido a un problema como pueda ser un cable MIDI desconectado, etc.) antes de 3 minutos desde la presión del botón START/STOP, aparecerá "STOP" en el visualizador y se cancelará el cálculo.

Función de afinación (tono)



Sonido del tono de afinación

1. Presione el botón **TUNE** para establecer el modo TUNE.
2. Gire el dial **TEMPO** y seleccione la nota entre 2C y 6B que desee escuchar.
3. Presione el botón **START**/**STOP** para que suene el tono de afinación seleccionado.

[Para cambiar el tono estándar]

1. Presione el botón **BEAT** para ajustar el tono estándar entre 438 Hz y 466 Hz.

Otras funciones

Empleo de la retroiluminación

1. Presione el botón **BACK LIGHT** para que se encienda la retroiluminación del visualizador (quedará encendido durante unos 20 segundos y luego se apagará).
2. Para mantener el visualizador continuamente iluminado, presione y mantenga presionado el botón **BACK LIGHT** durante más de 1 segundo. La retroiluminación parpadeará dos veces y luego quedará encendida. (Presione el botón **BACK LIGHT** para apagar la retroiluminación.)

CLICKSTATION

Manuale di Istruzioni

Vi ringraziamo per aver acquistato questo CLICKSTATION Yamaha. Per ottenere da questo prodotto il massimo che può dare, prima di farne uso si consiglia di leggere questo manuale sino in fondo. Inoltre, dopo averlo letto, riporre il manuale in un luogo sicuro in modo da poterne fare uso in futuro.

Dati tecnici

Metronomo

Tempo: 35 - 300 battute/minuto

Battute: BEAT 1:0 - 9, BEAT 2 (suddivisioni complesse):– - 9

Accuratezza del tempo: 0.16 %

Vibrazioni: pulsa in sintonia col tempo.

LED del tempo: lampeggia in sincronia con il tempo/battuta

Nota di accordatura

Gamma: Do2 – Si6

Altezza standard: 438 - 446 Hz

Accuratezza: +/- un centesimo

Memoria

Locazioni di memoria: 86

Numero totale di programmi di concatenazione: 10

Passi: 20 canzoni per programma di concatenazione

Ingressi/uscite

TRIGGER IN: presa fono monoaurale standard

MIDI IN: connettore DIN a cinque piedini standard

AUX IN: presa fono stereo standard

DC IN: +–⦿–– 9 V

PHONES: presa fono stereo standard x 1, minipresa fono stereo x 1

Altoparlante

57mm x1

Alimentazione

Adattatore di corrente alternata (PA-3C) o batteria 6LR61 (x1)

Dimensioni/peso (pila inclusa)

170 x 122 x 37 mm / 395 g

Accessori

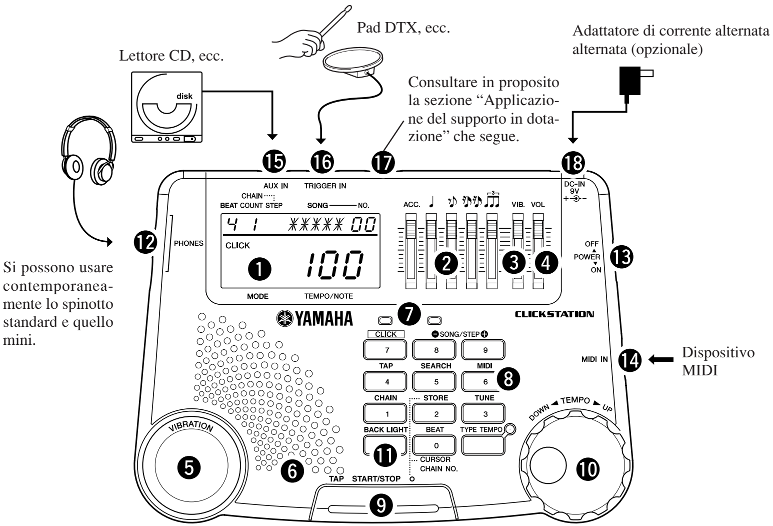
Supporto ad angolo, dado a farfalla, batteria 6LR61, manuale di istruzioni

** Le specifiche e l'aspetto possono subire variazioni senza preavviso.*

Precauzioni

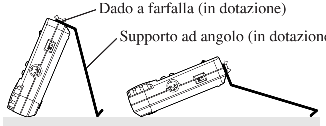
- Per evitare che si danneggi, evitare di usare il CLICKSTATION in luoghi come i seguenti.
  - In luce solare diretta o vicino ad apparecchi che producono calore.
  - Luoghi estremamente caldi o freddi.
  - Luoghi esposti ad alta umidità o polvere eccessiva.
  - Luoghi esposti ad urti e vibrazioni intensi.
- Prima di fare collegamenti, controllare che il CLICKSTATION e gli altri apparecchi da collegare siano spenti.
- Per proteggere l'altoparlante da possibili danni, prima di accendere o spegnere l'apparecchio portare sempre il cursore VOLUME sulla posizione "0".
- Non applicare forza eccessiva ad interruttori e comandi.
- Il vostro CLICKSTATION è uno strumento musicale di precisione. Trattarlo con la dovuta cura ed evitare di farlo cadere o esporlo ad urti.
- Per motivi di sicurezza, togliere la spina dell'adattatore di corrente alternata dalla presa di corrente alternata se si ritiene stia per iniziare un temporale.
- Tenere il CLICKSTATION lontano da insegne al neon o luci a fluorescenza per evitare che raccolga rumore.
- Per evitare danni e possibili folgorazioni, non aprire mai l'apparecchio e non toccarne i circuiti interni.
- Non usare mai benzina, diluente o altri fluidi volatili per la pulizia, dato che tali sostanze chimiche possono causare danni o scoloriture delle finiture. Per togliere polvere e sporco, usare solo un panno soffice ed asciutto.

Nomenclatura

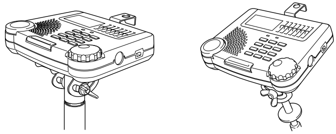


■ Applicazione del supporto

Applicando all’apparecchio l’angolo in dotazione è possibile installare il CLICKSTATION con una certa angolazione rispetto alla sua superficie di appoggio.



Inoltre, il CLICKSTATION può venire applicato ad un supporto per microfono, per piatti o campanacci, ecc. usando l’adattatore di installazione o l’adattatore per supporti per microfono opzionali.



■ Pannello anteriore

❶ Display
❷ Volume battute
❸ Volume vibrazione (VIB.)
❹ Volume (VOL.)
❺ Vibratore (VIBRATION)
❻ Altoparlante
❼ Indicatori di battuta
❽ Pulsanti di controllo
❾ Interruttore di avvio/arresto (usato anche come interruttore Tap)
❿ Manopola del tempo (TEMPO)
⓫ Interruttore luce di sfondo (con modalità di spegnimento automatico o di uso continuato, consultare in proposito la pagina 50)

■ Pannello laterale

⓬ Presa cuffie x 2 (PHONES)
⓭ Interruttore di alimentazione (POWER ON/OFF)
⓮ Presa di ingresso MIDI (MIDI IN)

■ Pannello posteriore

⓯ Presa di ingresso ausiliaria (AUX IN)
⓰ Presa di ingresso trigger (TRIGGER IN)
⓱ Attacco supporto
⓲ Presa adattatore di corrente alternata (DC IN 9V)

Preparativi per l'uso

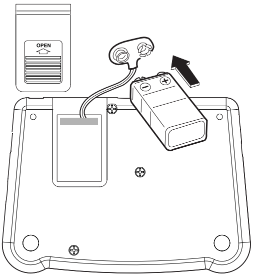
■ Uso di batterie

1. Preparare una batteria alcalina (6LR61: 9 V, S-006P).

* È anche possibile usare batterie al manganese, ma possono durare pochissimo.

2. Prima di togliere il coperchio del vano batterie dal pannello posteriore, controllare che l'interruttore di alimentazione si trovi sulla posizione **OFF**.

3. Controllare che le polarità (+) e (–) siano orientate correttamente, applicare la batteria ai terminali e quindi rimettere il coperchio del vano batterie al suo posto.

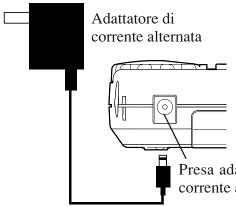


* Se la batteria si scarica, il volume prodotto scende ed il display diviene fioco. In tal caso, sostituire la batteria il più presto possibile.

■ Uso di un adattatore di corrente alternata

1. Controllare che l'interruttore di accensione si trovi nella posizione **OFF**, quindi collegare la presa DC l'adattatore di corrente alternata alla presa DC IN 9V di questo apparecchio.

2. Collegare la presa AC dell'adattatore di corrente alternata ad una presa di corrente alternata.

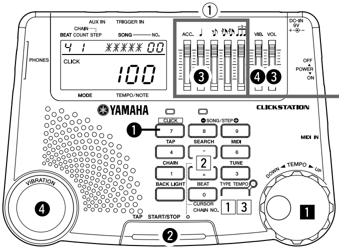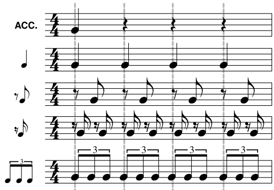


* Se l'adattatore di corrente alternata viene collegato a quest'unità mentre questa contiene una batteria, l'adattatore inizia automaticamente ad alimentare l'apparecchio, sostituendo la batteria.
* Usare esclusivamente l'adattatore di corrente alternata in dotazione. L'uso di adattatori di corrente alternata diversi può portare a danni ed incendi. Ciò inoltre può far scadere la garanzia anche se il periodo di garanzia non è finito, quindi prestare attenzione a questo punto.

Avvertenze riguardanti la memoria

- Quest'apparecchio non è in grado di salvare dei dati se la batteria viene tolta o l'adattatore di corrente alternata viene scollegato.
- Se quest'apparecchio non viene alimentato da una batteria o dall'adattatore di corrente alternata, i dati su canzoni o sui programmi di concatenazione creati dall'utente vengono perduti.
- Per sostituire la batteria senza perdere dati, collegare l'adattatore di corrente alternata al dispositivo mentre si cambia la batteria oppure cambiare la batteria prima che sia del tutto scarica e completare la procedura entro tre minuti.
- Il vibratore del dispositivo si indebolisce mano a mano che la batteria si scarica.
- Quando il display si affioca, la batteria deve venire sostituita il più presto possibile.

Uso del metronomo





Avvio del metronomo

❶ Premere il pulsante **CLICK**.

❷ Premere il pulsante **START/STOP** in modo da avviare il metronomo.

❸ Usare i cursori di controllo **Quarter Note** e **VOL** per aumentare il livello del volume.

* Il cursore di controllo VOL viene usato per controllare il volume generale di quest'unità. Quando VOL si trova su [0] (del tutto abbassato), l'apparecchio non produce alcun suono.

[Uso della caratteristica di pulsazione (VIBRATION)]

❹ Mantenere premuto **VIBRATION** ed il vibratore pulsa a tempo col metronomo. Quando il metronomo viene fermato, solo il vibratore e l'indicatore pulsante funzionano.
Per controllare l'intensità della pulsazione, usare il cursore di controllo **VIB**.

Regolazione del volume delle battute

① Usare i cursori di controllo del volume ① per regolare individualmente i volumi di ciascuna battuta. Consultare in proposito l'illustrazione che precede.

Modifica del tempo

1 Per regolare il tempo (da 35 a 300), girare la manopola **TEMPO**.

[Uso dei pulsanti numerici per impostare il tempo]

1 Premere il pulsante **TYPE TEMPO**. Il suo indicatore di accende.

2 Impostare il valore del tempo con i **pulsanti numerici**.

3 Premere il pulsante **START/STOP** ed il metronomo si avvia col tempo appena impostato.

4 Premere il pulsante **TYPE TEMPO** per cancellare la modalità di impostazione. Il suo indicatore si spegne.

* Quando l'indicatore TYPE TEMPO si accende, i pulsanti numerici si trovano nella modalità di impostazione del tempo. Far spegnere l'indicatore TYPE TEMPO se si intendono usare i pulsanti CLICK, SEARCH o di altre funzioni.

* Per cambiare il tempo mentre il metronomo è in uso:
- Se il pulsante START/STOP viene premuto nella fase 3, il tempo cambia istantaneamente (dalla prima battuta).
- Se il pulsante TYPE TEMPO viene premuto nella fase 3, il tempo cambia dalla battuta successiva.

Cambio dell'inizio battuta

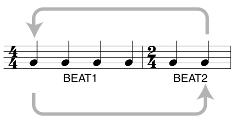
Premere il pulsante **BEAT** ed il valore BEAT visualizzato nell'angolo superiore sinistro del display lampeggia. Mentre BEAT lampeggia, premere il pulsante **BEAT** per impostare un valore fra 0 e 9. Se il pulsante non viene premuto entro due secondi, viene usato il valore attuale ed il display originale fa ritorno.

* Se si imposta l'accento dell'inizio della battuta, il tono ACC. suona alla prima battuta di ciascuna misura. Se la battuta viene impostata, il tono ACC. non suona.

[Uso di Beat 2 per creare ritmi o suddivisioni complessi]

Mantenere premuto il pulsante **BEAT** per oltre due secondi ed il valore COUNT accanto al valore BEAT lampeggia. Mentre COUNT lampeggia, premere il pulsante **BEAT** per impostare Beat 2 su di un valore compreso fra – e 9. Dopo due secondi, se il pulsante non viene premuto, l'impostazione precedente fa ritorno ed il display originale fa ritorno.

* L'impostazione di Beat 2 può venire usata per creare ritmi complessi lunghi oltre due misure (suddivisioni).



Salvataggio di canzoni

In questa sezione, le impostazioni del metronomo (tempo, battuta, conteggio, ecc.) possono venire salvati sotto il nome di “canzone”. Con CLICKSTATION, potete creare, denominare e salvare un massimo di 86 canzoni.

1. Premere il pulsante **STORE** per passare al display Store, quindi il nome SONG lampeggerà.

2. Usare i pulsanti **SONG**/**STEP –**/**+** per scegliere un numero di canzone nel quale salvare i dati.

3. Girare la manopola **TEMPO** per scegliere una lettera e quindi premere il pulsante **BEAT (CURSOR)** per finalizzare l’impostazione e spostare il cursore di una posizione verso destra.

4. Premere il pulsante **START**/**STOP** e l’indicazione STORE lampeggerà due volte ad indicare che la canzone è stata salvata.

Richiamo di una canzone

Per scegliere una canzone salvata, usare i pulsanti **SONG**/**STEP –**/**+**.

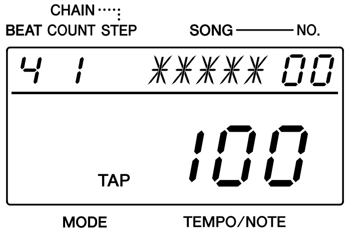
[Ricerca di una canzone]

1. Premere il pulsante **SEARCH** per passare al display SEARCH. Appare quindi l’indicazione SONG.

2. Girare la manopola **TEMPO** per scegliere la prima lettera del nome della canzone salvata da trovare.

3. Premere il pulsante **START**/**STOP** per visualizzare il nome della canzone che inizia con la lettera da voi scelta. Premere il pulsante **START**/**STOP** un’altra volta per visualizzare il nome di canzone successivo della lista.

Funzione Tap



Impostazione del tempo con la funzione TAP

1. Premere il pulsante **TAP** per passare alla modalità TAP.

2. Picchiettare il pulsante **START**/**STOP (TAP)** col tempo desiderato.Il CLICKSTATION automaticamente calcola il tempo battuto e ne visualizza il valore sul display.

3. Per avviare il metronomo col tempo visualizzato dal display, premere il pulsante **CLICK** e quindi quello **START**/**STOP (TAP)**.

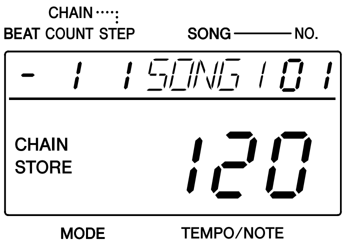
[Uso di un trigger o pad per impostare il valore del tempo]

Collegando un pad o un DTX Drum Trigger alla presa **TRIGGER IN**, questo può venire usato in modo analogo a quello visto per il pulsante **START**/**STOP (TAP)**.

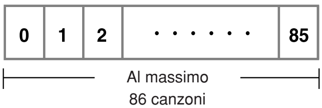
* Per dare un nome e quindi salvare il tempo così creato, consultare la sezione [Salvataggio di canzoni] vista qui sopra.

* Il tempo può venire calcolato entro una gamma che va da 35 a 300 battute al minuto. Se fosse inferiore a 35, appare l’indicazione [Lo], mentre se fosse superiore a 300 appare quella [Hi].

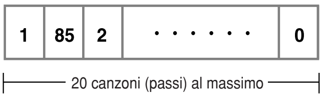
Funzione di concatenazione Chain



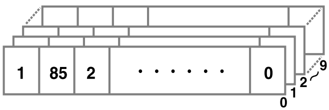
Canzoni salvate (numeri da 0 a 85)



Mettere le canzoni nell'ordine desiderato)



I gruppi di canzoni salvati qui costituiscono un programma di concatenazione Chain.



È possibile creare e salvare al massimo dieci programmi Chain come quello visto.

Modifica dell'ordine delle canzoni

La funzione di concatenazione permette anche di riordinare canzoni a proprio piacimento.

1. Premere il pulsante **CHAIN** per passare alla modalità CHAIN.
2. Premere il pulsante **STORE** in modo da far comparire sia l'indicazione CHAIN che quella STORE sul lato sinistro del display.
3. Premere il pulsante **CHAIN NO. (BEAT)** per scegliere il numero di programma di concatenazione (da 0 a 9) in cui salvare la concatenazione creata.
4. Far girare la manopola **TEMPO** per scegliere la canzone che diverrà la prima maglia della catena.
5. Premere il pulsante **START/STOP** e l'indicatore STORE lampeggia due volte nel display ad indicare che la prima maglia della catena è stata salvata.
6. Premere il pulsante **SONG/STEP+** per passare alla successiva e finalizzare l'impostazione fatta.
7. Ripetere i numeri da 4 a 6 per creare altre concatenazioni.

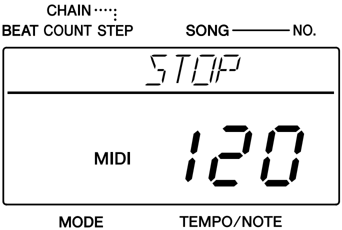
* Ciascun programma di concatenazione può contenere al massimo 20 passi (20 canzoni).

Riproduzione di un programma di concatenazione

1. Premere il pulsante **CHAIN** per passare alla modalità CHAIN.
2. Premere il pulsante **CHAIN NO.** per scegliere il numero del programma di concatenazione che si vuole usare.
3. Premere il pulsante **START/STOP** per avviare la canzone in cima alla lista.
4. Premere il pulsante **START/STOP** per fermare la canzone e quindi premere il pulsante **SONG/STEP +** per avviare la canzone successiva della lista.

* Premere il pulsante SONG/STEP – per tornare alla canzone precedente dela lista.

MIDI



Per sincronizzare il tempo con un dispositivo esterno

1. Spenta quest'unità, collegarla con un cavo MIDI la presa MIDI OUT del dispositivo MIDI esterno a quella MIDI IN del CLICKSTATION.
2. Portare l'interruttore di accensione su ON e premere il pulsante **MIDI** per passare alla modalità MIDI. (Display: STOP)
3. Quando il sequencer del dispositivo MIDI si avvia, il suo tempo viene calcolato automaticamente e quindi visualizzato sul display. (Display: START)
4. Premere il pulsante **START**/**STOP** e quindi avviare il sequencer. (Display: l'indicatore MIDI lampeggia), quindi il metronomo e l'indicatore di battuta inizia e suona in sincronia col sequencer.

* Per visualizzare solo il tempo senza la riproduzione del metronomo, premere il pulsante START/STOP un'altra volta.

* Se il sequencer viene fermato temporaneamente, quando il sequencer viene riavviato l'indicazione CONT (continua) appare nel display.

* Per ascoltare la riproduzione della canzone sul sequencer insieme al metronomo, collegare l'uscita audio del sequencer alla presa AUX IN del CLICKSTATION.

* Se il dispositivo non riesce a raccogliere il segnale MIDI (ad esmepio perché un cavo MIDI è scollegato) entro tre minuti dalla pressione del pulsante START/STOP, l'indicazione "STOP" appare sul display ed il calcolo cessa.

Funzione di accordatura (altezza)



Regolazione del suono di accordatura

1. Premere il pulsante **TUNE** per passare alla modalità TUNE.
2. Girare la manopola **TEMPO** e scegliere la nota fra Do2 e Si6 che si desidera sentire.
3. Premere il pulsante **START**/**STOP** per far suonare il suono scelto.

[Cambio dell'altezza standard]

1. Premere il pulsante **BEAT** per regolare l'altezza standard fra 438 Hz e 446 Hz.

Altre funzioni

Uso della luce di sfondo

1. Premere il pulsante **BACK LIGHT** per accendere la luce di sfondo. Essa rimane accesa per circa 20 secondi e quindi si spegne.
2. Per mantenerla sempre accesa, mantenere premuto il pulsante **BACK LIGHT** per oltre un secondo. La luce di sfondo lampeggia due volte e quindi rimane accesa. Per farla spegnere, premere il pulsante BACK LIGHT un'altra volta.

CLICKSTATION

HANDLEIDING

Hartelijk dank voor het aanschaffen van de Yamaha CLICKSTATION metronoom. Om optimaal te kunnen profiteren van dit product raden we u aan deze handleiding zorgvuldig door te lezen voor u het toestel gaat gebruiken. Bewaar deze handleiding zodat u er later nog eens iets in kunt opzoeken.

Technische gegevens

Metronoom

Tempo: 35 - 300 tikken/minuut

Tikken: BEAT 1:0 - 9, BEAT 2 (complexe structuren):– - 9

Zuiverheid tempo: 0,16%

Trilfunctie: Trilt synchroon met tempo

Tempo LED: Knippert synchroon met tempo/tikken

Toonhoogte afstemmen

Bereik: C2 - B6

Standaard toonhoogte: 438 - 446 Hz

Zuiverheid: +/– 1 Cent

Geheugen

Geheugenposities: 86

Totaal aantal ketenprogramma's: 10

Stappen: 20 muziekstukken (per ketenprogramma)

In/uit

TRIGGER IN: Standaard mono stekkeraansluiting

MIDI IN: Standaard 5-pens DIN aansluiting

AUX IN: Standaard stereo stekkeraansluiting

DC IN : +–◐–– 9 V gelijkstroomaansluiting

PHONES: Standaard stereo stekkeraansluiting x1, Mini stereo stekkeraansluiting x1

Luidspreker

57mm x1

Stroomvoorziening

Netstroomadapter (PA-3C) of 6LR61 batterij (9 V) (x1)

Afmetingen / gewicht (inclusief batterij)

170 x 122 x 37 mm / 395 g

Toebehoren

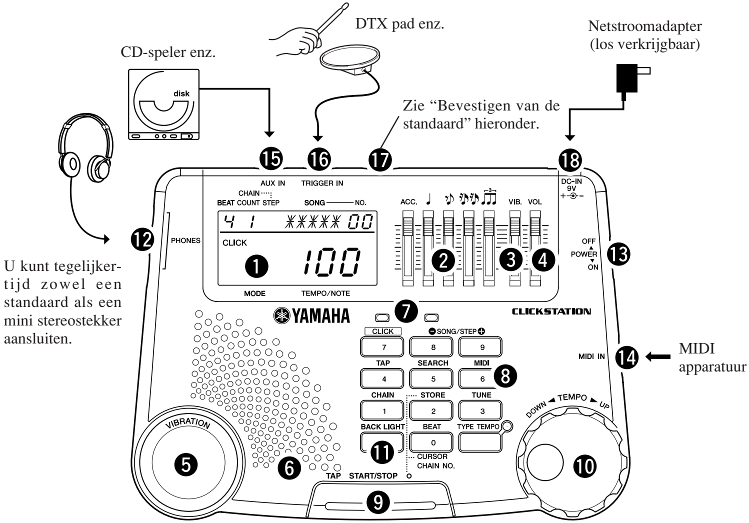
Standaard, vleugelbout, 6LR61 batterij, handleiding

** Specificaties en uiterlijk kunnen wijzigen zonder dat hier vantevoren kennis van wordt gegeven.*

Voorzorgen

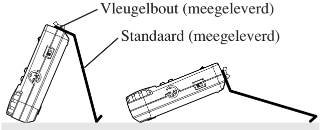
- Om schade te voorkomen kunt u uw CLICKSTATION beter niet op de volgende plekken gebruiken:
  - In direct zonlicht of in de buurt van de verwarming.
  - Op zeer koude of zeer hete plekken.
  - Op zeer vochtige of zeer stoffige plekken.
  - Op plekken waar het toestel bloot staat aan hevige schokken of trillingen.
- Voor u iets gaat aansluiten moet u controleren of uw CLICKSTATION en alle andere apparatuur uit staat.
- Ter bescherming van de luidspreker moet u de VOL. schuifregelaar op “0” zetten voor u de stroom inschakelt.
- Zet niet teveel kracht op de schuifregelaars en andere bedieningsorganen.
- Uw Yamaha CLICKSTATION is een precisie muziekinstrument. Behandel het daarom zorgvuldig en laat het niet vallen of ergens tegenaan stoten.
- Om veiligheidsredenen dient u altijd wanneer het in de buurt onweert de stekker van de netstroomadapter uit het stopcontact te halen.
- Houd uw CLICKSTATION uit de buurt van neon reclames of fluorescentie (TL) lampen om storing te voorkomen.
- Om beschadiging en eventueel elektrische schokken te voorkomen mag u in geen geval de behuizing open maken en met de interne schakelingen gaan knoeien.
- Gebruik in geen geval benzeen, verfverdunner of andere agressieve middelen om het toestel schoon te maken, want deze kunnen de afwerking aantasten of doen verkleuren. Gebruik alleen een droge, zachte doek om stof en vuil weg te vegen.

Benamingen

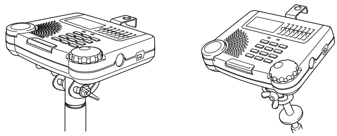


■ Bevestigen van de standaard

Door middel van de meegeleverde standaard kunt u uw CLICKSTATION onder een hoek op tafel of zo zetten.



Uw CLICKSTATION kan ook worden bevestigd aan een microfoon- of cimbalenstandaard, aan een koebelhouder enz. via de los verkrijgbare bevestigingsadapter of microfoonstandaard-adapter.



■ Voorpaneel

❶ Display
❷ Tikvolume
❸ Vibratievolume (VIB.)
❹ Volume (VOL)
❺ Trilblok (VIBRATION)
❻ Luidspreker
❼ Tik-indicators
❽ Bedieningstoetsen
❾ Start/stop schakelaar (ook gebruikt als trommel)
❿ Tempo draaiknop (TEMPO)
⓫ Toets voor achtergrondverlichting (automatisch uitschakelend of doorlopend, zie bladzijde 58)

■ Zijpaneel

⓬ Hoofdtelefoon aansluitingen x2 (PHONES)
⓭ Aan/uit schakelaar (POWER ON/OFF)
⓮ MIDI ingangsaansluiting (MIDI IN)

■ Achterpaneel

⓯ Ingangsaansluiting voor externe apparatuur (AUX IN)
⓰ Ingangsaansluiting externe schakelaar (TRIGGER IN)
⓱ Aansluiting standaard
⓲ Gelijkstroomaansluiting netstroomadapter (DC IN 9V)

Klaar maken voor gebruik

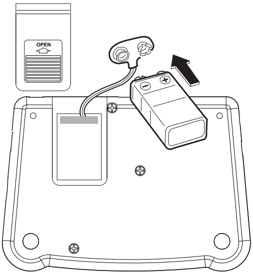
■ Gebruik op batterij

1. Zorg voor één alkali 9 V blokbatterij (6LR61: 9 V, S-006P)

* U kunt ook een (ouderwetsere) mangaan batterij gebruiken, maar afhankelijk van het fabrikaat gaan deze veel korter mee.

2. Controleer of de aan/uit schakelaar op **OFF** staat en haal vervolgens het klepje van het batterijvak aan de onderkant van het toestel.

3. Controleer de polariteit (+/–) van de aansluiting en de batterij, druk de batterij vast op de aansluiting, doe de batterij in het batterijvak en doe tenslotte het klepje weer terug.

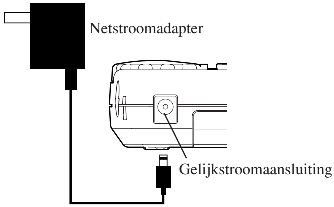


* Wanneer de batterij leeg begint te raken, zal het volume afnemen en het display moeilijker af te lezen worden. Wanneer u dit merkt moet u zo spoedig mogelijk de batterij vervangen door een verse.

■ Gebruik met de netstroomadapter

1. Controleer of de aan/uit schakelaar op **OFF** staat en doe vervolgens de gelijkstroomstekker van de netstroomadapter in de DC IN 9V aansluiting.

2. Doe de stekker van de netstroomadapter in het stopcontact.



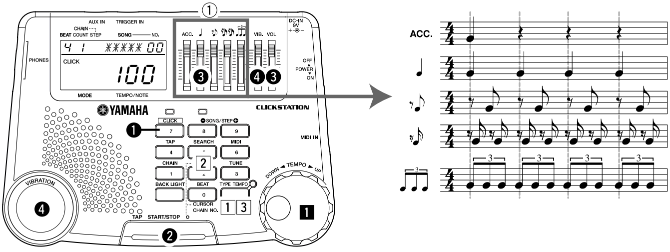
* Als de netstroomadapter wordt aangesloten terwijl er al een batterij in het toestel zit, zal de stroomvoorziening automatisch via de netstroomadapter plaatsvinden.

* U mag alleen de opgegeven netstroomadapter gebruiken. Gebruik van een andere dan de opgegeven netstroomadapter kan leiden tot schade, brand enz. Gebruik van een andere netstroomadapter kan ook uw garantie annuleren, ook al is de garantietermijn voor het toestel nog niet verstreken, dus houd hier rekening mee.

Waarschuwingen betreffende het verliezen van gegevens in het geheugen

- Dit toestel is niet in staat gegevens in het geheugen te bewaren zonder stroomvoorziening via een abtterij of netstroomadapter.
- Als het toestel zonder stroom zit, dus geen of lege batterijen en geen netstroomadapter, zullen door de gebruiker aangemaakte muziekstukken en programma's verloren gaan.
- Om de batterij te vervangen zonder het risico te lopen uw gegevens te verliezen, dient u bij het vervangen van de batterij de netstroomadapter aan te sluiten, of de batterij te vervangen voor deze leeg raakt en de nieuwe batterij er binnen 3 minuten na het verwijderen van de oude in te doen.
- De trilfunctie van het toestel zal zwakker worden naarmate de batterij leger raakt.
- Vervang de batterij zo snel mogelijk wanneer u merkt dat het display zwakker wordt.

Gebruiken van de metronoom



Start het tikken van de metronoom

❶ Druk op de **CLICK** toets.

❷ Druk op **START/STOP** om de metronoom te starten.

❸ Gebruik de **Kwartnoot** en **VOL** schuifregelaars om het volume te regelen.

* De VOL schuifregelaar regelt het algehele volume van het toestel. Wanneer de VOL regelaar op “0” staat (helemaal naar beneden), wordt er helemaal geen geluid geproduceerd.

[Gebruiken van de VIBRATION functie]

❹ Houd het **VIBRATION** trilblok ingedrukt en u zult voelen dat dit meetrilt in het tempo van de metronoom. Wanneer het geluid van de metronoom wordt uitgeschakeld, blijven alleen VIBRATION en de knipperende tik-indicator werken.
Gebruik de **VIB.** schuifregelaar om de hoeveelheid trilling te regelen.

Instellen tik-volumes

① Gebruik de schuifregelaars bij ① om voor elke telmaat apart het volume in te stellen. (Zie de afbeelding hierboven.)

Veranderen van het tempo

1 Verdraai de **TEMPO** draaiknop om het tempo in te stellen (35 - 300).

[Instellen van het tempo met de cijfertoetsen]

1 Druk op de **TYPE TEMPO** toets. (Lampje licht op.)

2 Voer met de **cijfertoetsen** de gewenste waarde voor het tempo in.

3 Druk op **START/STOP** en de metronoom zal beginnen te tikken in het door u ingevoerde tempo.

4 Druk op de **TYPE TEMPO** toets om de ingevoerde instelling weer te annuleren. (Lampje gaat uit.)

* Wanneer het TYPE TEMPO lampje brandt, staan de cijfertoetsen in de instelfunctie voor het tempo. Zorg er voor dat het TYPE TEMPO lampje uit is voor u CLICK, SEARCH of andere functietoetsen gaat gebruiken.

* Als u het tempo wilt veranderen terwijl de metronoom in werking is:
- Als bij stap 3 op START/STOP wordt gedrukt, zal het tempo onmiddellijk de nieuw ingestelde waarde volgen (vanaf beat 1).
- Als bij stap 3 op de TYPE TEMPO toets wordt gedrukt, zal het tempo de nieuw ingestelde waarde volgen vanaf de eerstvolgende beat.

Veranderen van de BEAT

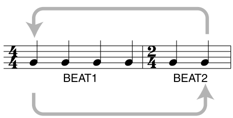
Druk op de **BEAT** toets zodat de BEAT waarde in de linker bovenhoek gaat knipperen. Druk terwijl de BEAT waarde knippert op de **BEAT** toets om een andere waarde tussen 0 en 9 in te stellen. Als de toets 2 seconden lang niet wordt ingedrukt zal de waarde op dat moment worden ingevoerd en zal het normale display terugkeren.

* Wanneer u een BEAT waarde heeft ingesteld, zal de ACC. toon klinken op de eerste tel van elke maat. Als u een BEAT waarde van “0” instelt, zal de ACC. toon niet worden geproduceerd.

[Met BEAT 2 complexe structuren of onderverdelingen maken]

Houd de **BEAT** toets tenminste 2 seconden ingedrukt zodat de COUNT waarde naast de BEAT waarde gaat knipperen. Druk terwijl de COUNT waarde knippert op de **BEAT** toets om een BEAT 2 waarde tussen – en 9 in te stellen. Als de toets 2 seconden lang niet wordt ingedrukt zal de waarde op dat moment worden ingevoerd en zal het normale display terugkeren.

* Met de BEAT 2 instelling kunt u complexe structuren aanbrengen die zich over 2 maten uitstrekken (onderverdelingen).



Opslaan van muziekstukken

Via deze functie kunt u een set metronoom instellingen (tempo, beat, telmaat enz.) bij elkaar opslaan als een muziekstuk. Met uw CLICKSTATION kunt u maximaal 86 muziekstukken maken, benoemen en opslaan.

1. Druk op de **STORE** toets om het display voor het opslaan te openen en bij SONG zal de naam van het muziekstuk gaan knipperen.
2. Met de **SONG**/**STEP –**/**+** toetsen kunt u het nummer selecteren waaronder u dit muziekstuk wilt opslaan.
3. Verdraai de **TEMPO** draaiknop om een letter te selecteren en druk vervolgens op de **BEAT (CURSOR)** toets om deze in te voeren en de cursor naar rechts te verplaatsen.
4. Druk op **START**/**STOP** zodat STORE twee keer op het display knippert ten teken dat het muziekstuk is opgeslagen.

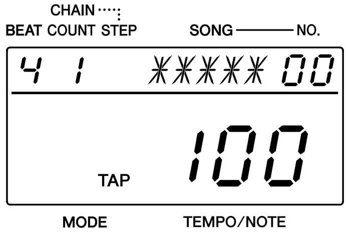
Oproepen van een muziekstuk

Selecteer een eerder opgeslagen muziekstuk met de **SONG**/**STEP –**/**+** toetsen.

[Opzoeken van een muziekstuk]

1. Druk op de **SEARCH** toets om het zoekdisplay te openen. De naam van een muziekstuk zal bij SONG gaan knipperen.
2. Verdraai de **TEMPO** draaiknop en kies de eerste letter van de naam van het eerder opgeslagen muziekstuk dat u zoekt.
3. Druk op **START**/**STOP** om naar het eerste muziekstuk dat met de opgegeven letter begint te springen. Druk nog eens op **START**/**STOP** om de volgende naam uit de lijst op het display te zien.

Trommelfunctie



Stel het gewenste tempo in met de trommelfunctie (TAP)

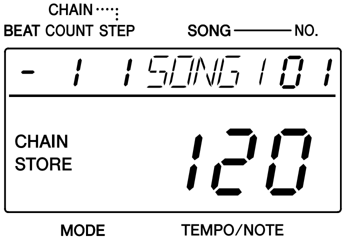
1. Druk op de **TAP** toets om de trommelfunctie in te schakelen.
2. Trommel in het gewenste tempo op **START**/**STOP (TAP)**. Uw CLICKSTATION berekent nu automatisch welk tempo ingesteld moet worden en toont deze waarde op het display.
3. Om de metronoom te starten met de op het display getoonde waarde, moet u eerst op de **CLICK** toets drukken en vervolgens op **START**/**STOP (TAP)**.

[Gebruiken van een externe schakelaar of een drumpad om het tempo in te stellen]

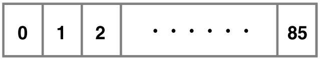
Als u een drumpad of de DTX Drum Trigger aansluit op de **TRIGGER IN** ingangsaansluiting, kunt u deze op dezelfde manier gebruiken als **START**/**STOP (TAP)**.

* Als u het tempo dat u met de trommelfunctie heeft ingevoerd wilt opslaan, dient u [Opslaan van muziekstukken] hierboven te raadplegen.
* Het tempo wordt berekend binnen het bereik van 35 t/m 300 tikken per minuut. Als uw tempo langzamer is dan 35, zal de aanduiding [Lo] (te laag) verschijnen, is uw tempo hoger dan 300, dan verschijnt [Hi] (te hoog).

Ketenfunctie

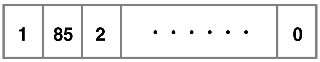


Opgeslagen muziekstukken
(SONG nummers 0-85)



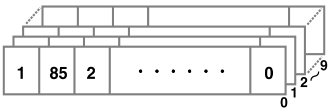
Max. 86
muziekstukken

Zet de muziekstukken in
de gewenste volgorde



Max. 20 muziekstukken
(stappen)

Deze groep van opgeslagen muziekstukken noemen we een ketenprogramma.



U kunt maximaal 10 ketenprogramma's zoals hierboven aanmaken en opslaan.

Veranderen van de volgorde van muziekstukken

Met de ketenfunctie kunt u opgeslagen muziekstukken in de door u gewenste volgorde plaatsen.

1. Druk op de **CHAIN** toets om de ketenfunctie in te schakelen.
2. Druk op de **STORE** toets zodat aan de linkerkant van het display zowel CHAIN als STORE verschijnt.
3. Druk op de **CHAIN NO. (BEAT)** toets om het ketenprogrammanummer (0 - 9) te kiezen waaronder u dit ketenprogramma wilt opslaan.
4. Verdraai de **TEMPO** draaiknop om het muziekstuk te selecteren dat de eerste stap in de keten zal vormen.
5. Druk op **START**/**STOP** zodat STORE twee keer knippert op het display ten teken dat de eerste stap in het ketenprogramma opgeslagen is.
6. Druk op de **SONG**/**STEP +** toets om door te gaan naar de volgende stap en uw instelling in te voeren.
7. Herhaal de stappen 4 t/m 6 hierboven om een ketenprogramma samen te stellen.

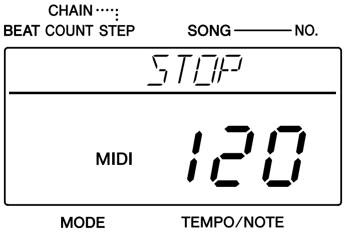
   * U kunt maximaal 20 stappen (muziekstukken) opnemen in een ketenprogramma.

Afspelen van het ketenprogramma

1. Druk op de **CHAIN** toets om de ketenfunctie in te schakelen.
2. Druk op de **CHAIN NO.** toets en selecteer het programmanummer dat u wilt afspelen.
3. Druk op **START**/**STOP** om de keten, te beginnen met het eerste muziekstuk daaruit, te laten afspelen.
4. Druk eerst op **START**/**STOP** om het spelende muziekstuk te stoppen en druk dan op **SONG**/**STEP +** om door te gaan met het volgende muziekstuk uit de keten.

   * Met SONG/STEP – kunt u terug naar het vorige muziekstuk in de keten.

MIDI

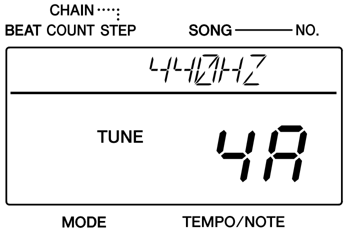


Tempo synchroniseren met externe MIDI apparatuur

1. Schakel de stroom uit en gebruik een MIDI kabel om de MIDI OUT uitgangsaansluiting van de externe MIDI apparatuur te verbinden met de MIDI IN ingangsaansluiting van uw CLICKSTATION.
2. Zet de aan/uit schakelaar op ON en druk op de **MIDI** toets om de MIDI functie in te schakelen. (Display: STOP)
3. Wanneer de sequencer van de externe MIDI apparatuur begint, zal het tempo daarvan automatisch worden berekend en worden getoond op het display. (Display: START)
4. Druk op **START/STOP** en start de sequencer (Display: MIDI knippert) zodat de metronoom en de indicator synchroon met de sequencer beginnen en blijven lopen.

* Als u alleen het tempo wilt aflezen zonder gebruik te maken van de metronoom, moet u nog eens op START/STOP drukken.
* Als de sequencer tijdelijk wordt gestopt, zal CONT (doorgaan) verschijnen op het display wanneer de sequencer weer begint.
* Als u de weergave van het muziekstuk van de sequencer samen met de metronoom wilt horen, moet u de audio uitgangsaansluiting van de sequencer verbinden met de AUX IN ingangsaansluiting van uw CLICKSTATION.
* Als het toestel binnen 3 minuten geen MIDI signaal kan detecteren (bijvoorbeeld vanwege een losse MIDI kabel o.i.d.), of als er op START/STOP wordt gedrukt, zal “STOP” verschijnen op het display en zal de tempoberekening worden gestopt.

Stem (toonhoogte) functie



De stemtoon laten klinken

1. Druk op de **TUNE** toets om de TUNE functie in te schakelen.
2. Verdraai de **TEMPO** draaiknop en selecteer de toon tussen 2C en 6B die u wilt horen.
3. Druk op **START/STOP** om de geselecteerde toon te laten klinken.

[Veranderen van de standaard toonhoogte]

1. Druk op de **BEAT** toets om de standaard toonhoogte in te stellen tussen 438 Hz en 446 Hz.

Overige functies

Gebruiken van de achtergrondverlichting

1. Druk op de **BACK LIGHT** toets om het display te verlichten (de verlichting blijft ongeveer 20 seconden branden en schakelt dan vanzelf uit).
2. Als u wilt dat het display doorlopend verlicht blijft, dient u **BACK LIGHT** tenminste 1 seconde ingedrukt te houden. De achtergrondverlichting knippert dan twee keer en zal vervolgens doorlopend blijven branden. (Druk op **BACK LIGHT** om de achtergrondverlichting weer uit te zetten.)

Printed in China